

令和3年

# グラフで見る神奈川県下における 労働災害と健康の現状

(令和2年労働災害のとりまとめ)



**神奈川県労働局・各労働基準監督署**

**神奈川県労働局労働基準部編**

本紙本内容については下記神奈川県労働局ホームページにて、若しくは右のQRコードからご覧下さい。

<https://jsite.mhlw.go.jp/kanagawa-roudoukyoku/>



# 目 次

はじめに

|   |                                            |    |
|---|--------------------------------------------|----|
| 1 | 労働災害の推移                                    | 1  |
|   | 労働災害による死傷者数の年次別推移(図 1-1)                   |    |
|   | 労働災害による死亡者数の年次別推移(図 1-2)                   |    |
| 2 | 業種別災害比率                                    | 3  |
|   | 業種別休業 4 日以上の死傷者数(図 2-1)                    |    |
|   | 業種別死亡者数(図 2-2)                             |    |
| 3 | 業種別労働災害の推移                                 | 3  |
|   | 業種別休業 4 日以上の死傷者数の推移(図 3-1-1)               |    |
|   | 死傷者数 平成 26 年を基準として指数化(図 3-1-2)             |    |
|   | 業種別死亡者数の推移(図 3-2-1)                        | 4  |
|   | 死亡者数 平成 26 年を基準として指数化(図 3-2-2)             |    |
| 4 | 事故の型別災害発生状況                                | 5  |
|   | 事故の型別休業 4 日以上の死傷者割合(図 4-1)                 |    |
|   | 事故の型別死亡者割合(図 4-2)                          | 5  |
|   | (1) 死傷災害の概要(図 4-3)                         | 6  |
|   | (2) 食料品製造業死傷災害(図 4-4)                      |    |
|   | (3) 第三次産業死傷災害                              | 7  |
|   | ア 小売業(図 4-5)                               |    |
|   | イ 社会福祉施設(図 4-6)                            |    |
|   | ウ 飲食店(図 4-7)                               |    |
|   | (4) 陸上貨物運送事業(道路貨物運送業および陸上貨物取扱業)死傷災害(図 4-8) | 7  |
|   | (5) 建設業死傷災害(図 4-9)                         | 8  |
|   | (6) 災害多発業種死傷災害                             |    |
|   | ア ビルメンテナンス業(図 4-10)                        |    |
|   | イ 産業廃棄物処理業(図 4-11)                         |    |
|   | ウ 警備業(図 4-12)                              |    |
| 5 | 起因物別災害発生状況                                 | 9  |
|   | 起因物別休業 4 日以上の死傷者割合(図 5-1)                  |    |
|   | 起因物別死亡者割合(図 5-2)                           |    |
|   | (1) 食料品製造業死傷災害(図 5-3)                      | 10 |
|   | (2) 第三次産業死傷災害                              |    |
|   | ア 小売業(図 5-4)                               |    |
|   | イ 社会福祉施設(図 5-5)                            |    |
|   | ウ 飲食店(図 5-6)                               |    |
|   | (3) 陸上貨物運送事業(道路貨物運送業および陸上貨物取扱業)死傷災害(図 5-7) |    |

|                                              |       |    |
|----------------------------------------------|-------|----|
| (4) 建設業死傷災害(図 5-8)                           | ----- | 11 |
| (5) 災害多発業種死傷災害                               |       |    |
| ア ビルメンテナンス業(図 5-9)                           |       |    |
| イ 産業廃棄物処理業(図 5-10)                           |       |    |
| ウ 警備業(図 5-11)                                |       |    |
| 6 年齢階層別災害発生状況                                | ----- | 12 |
| 年齢階層別休業 4 日以上の死傷者数(図 6-1)                    |       |    |
| 年齢階層別死亡者数(図 6-2)                             |       |    |
| 業種別 50 歳以上の被災労働者の割合(図 6-3)                   |       |    |
| 7 経験年数別災害発生状況                                | ----- | 13 |
| 業種別経験年数 1 年未満の被災労働者の割合(図 7)                  |       |    |
| 8 交通労働災害発生状況                                 | ----- | 13 |
| 交通労働災害 死亡者数の推移(図 8-1)                        |       |    |
| 業種別死亡者数(図 8-2)                               |       |    |
| 9 業務上疾病発生状況                                  | ----- | 14 |
| 業務上疾病発生状況(年次別推移)(図 9-1)                      |       |    |
| 業務上疾病発生状況(平成 24 年～)(表 9-1)                   |       |    |
| 業務上疾病による死亡災害(平成 24～令和 2 年)(図 9-2)            | ----- | 15 |
| 腰痛災害発生状況(令和 2 年)(図 9-3)                      |       |    |
| 年次別 熱中症による労働災害発生状況(図 9-4)                    |       |    |
| 10 労災保険給付等状況(脳・心臓疾患及び精神障害)                   | ----- | 16 |
| 脳・心臓疾患の労災補償状況(図 10-1)                        |       |    |
| 精神障害の労災補償状況(図 10-2)                          |       |    |
| 11 健康診断結果                                    | ----- | 17 |
| 業種別定期健康診断実施状況(表 11-1)                        |       |    |
| 定期健康診断 有所見率の推移(神奈川・全国)(図 11-1)               | ----- | 18 |
| 定期健康診断結果の有所見率の推移(図 11-2)                     |       |    |
| 年次別特殊健康診断実施状況(表 11-2)                        | ----- | 19 |
| 特殊健康診断有所見者率の推移(図 11-3)                       |       |    |
| じん肺健康管理実施状況(表 11-3)                          | ----- | 20 |
| ストレスチェック検査・面接指導実施状況(神奈川)(図 11-4)             |       |    |
| 令和 2 年「心理的な負担の程度を把握するための検査」実施状況(規模別)(表 11-4) | ----- | 21 |
| ストレスチェック検査・集団ごとの分析の有無(神奈川)(図 11-5)           |       |    |
| 12 神奈川労働局 第 13 次労働災害防止推進計画の概要                | ----- | 22 |
| 13 令和 2 年に発生した死亡災害の概要                        | ----- | 26 |
| 14 最近のパンフレット(高齢者／トラック等の荷物の積み降ろし／熱中症)         | ----- | 30 |

# はじめに

全国で発生した労働災害は、昭和36年に死傷者数481,686人（休業8日以上）、死亡者数6,712人をピークに、その後、昭和47年に統計対象を休業4日以上死傷者数とした以降を含み長期的に減少しています。

神奈川労働局管内の労働災害も、同様に昭和36年に死傷者数26,376人（休業8日以上）、死亡者数336名をピークとして長期的には減少しています。

神奈川労働局管内の労働災害の最近の推移について、休業4日以上死傷者数（以下「死傷者数」と略）は平成21年に過去最少の6,215人になってから6,500人前後で推移してきましたが、平成30年から増加傾向が明らかとなり、令和2年は7,617人（前年比522人増加で増加率7.4%、新型コロナウイルス感染症のり患413人分を除くと前年比109人増加で増加率1.5%）と、平成10年以降最多となりました。死亡者数は、平成26年以降最多となる37人となりました。

令和2年の死傷者数について、業種別にみると、製造業・飲食店が減少、建設業・陸上貨物運送事業・小売業・社会福祉施設が増加となり、なかでも大幅な増加が社会福祉施設（前年比282人、39.0%増加）で認められました。

事故の型別では、令和元年と同じく、多い順で「転倒」（23.3%）、「動作の反動、無理な動作」（17.9%）、「墜落、転落」（14.9%）となりました。死亡者数については、「墜落、転落」による死亡が最も多いほか、熱中症による死亡1人が認められました。

また年齢階層別にみると、60歳以上の年齢層の、死亡災害全体に占める割合が過去（平成10年の年齢階層別統計開始以降）最大の43.2%を占めました。

さらに経験年数別にみると、経験1年未満の労働者の災害が全体の20%以上を占め、産業廃棄物処理業と飲食店はその比率が特に高く注目されることです。

これらの分析結果に基づき、神奈川労働局では、「第13次労働災害防止推進計画」（期間 平成30年度～令和4年度）を「働き方改革」とともに推進してまいります。推進期間中は、労働災害が増加傾向にある業種の、建設業、陸上貨物運送事業、小売業、社会福祉施設を中心に取組むこととしております。

また、先に述べたとおり、最近の傾向として50歳以上の労働者や一部の業種において経験1年未満の労働者による災害が増加していることから、令和2年3月に厚生労働省が新たに策定した「エイジフレンドリーガイドライン（高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン）」及び雇入れ時教育の一層の充実を、幅広く周知してまいります。

事業者、関係者の皆様におかれましては、本冊子を労働災害防止のための一助としてご活用いただければ幸いです。そして、基本的な安全衛生対策の実施はもとより、雇入れ時教育等の安全衛生教育の教育内容の充実、さらには「危険の見える化」など災害防止活動の一層の活発化をお願い申し上げます。

令和3年5月 神奈川労働局労働基準部

# 労働災害とは

労働災害とは、労働者の就業に係る建設物、設備、原材料、ガス、蒸気、粉じん等により、又は作業行動その他業務に起因して、労働者が負傷し、疾病にかかり、又は死亡することをいう。(労働安全衛生法第2条第1号)

## 事業者等の責務

事業者は、単にこの法律で定める労働災害の防止のための最低基準を守るだけでなく、快適な職場環境の実現と労働条件の改善を通じて職場における労働者の安全と健康を確保するようにしなければならない。また、事業者は、国が実施する労働災害の防止に関する施策に協力するようにしなければならない。(労働安全衛生法第3条第1項)

### 労働災害と事業者責任

#### (1) 安全配慮義務

安全配慮義務は判例上認められたものです。

事業主がこの安全配慮義務を履行していないときは、債務不履行責任（民法第415条）が問われます。

労働契約法第5条では、「使用者は、労働契約に伴い、労働者がその生命、身体等の安全を確保しつつ労働することができるよう、必要な配慮をするもの。」と規定しています。

#### (2) 事業者等の災害防止責任

### 法令違反と義務主体の責任

#### 刑事上の責任

- ・労働安全衛生法:措置義務違反
- ・刑法:業務上過失致死傷  
(罰則の適用)

#### 行政上の制裁

- ・使用/作業停止
- ・入札停止
- ・営業停止
- ・企業名公表 等

#### 民事上の責任

- ・労働契約法第5条  
:労働者の安全への配慮
- ・民法第415条:債務不履行責任
- ・民法第709条:不法行為責任
- ・民法第715条:使用者責任

#### 社会的制裁

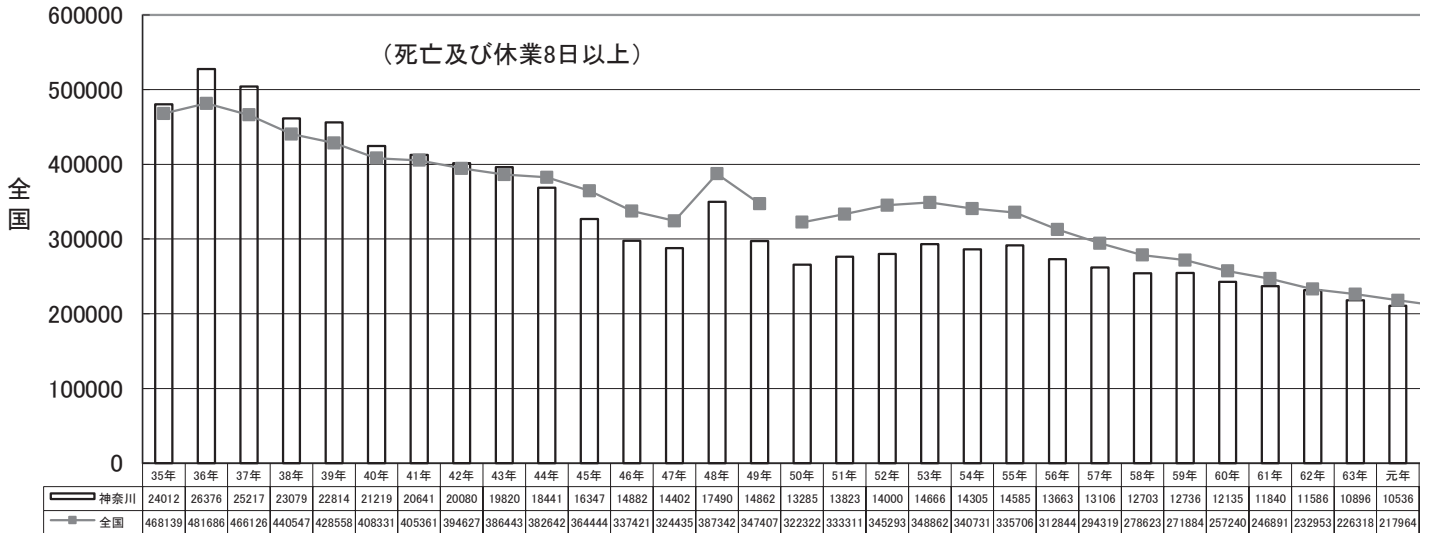
- ・マスコミでの非難報道や風評
- ・信用失墜、顧客離れ
- ・経営不振→廃業

# 1 労働災害の推移

全国の労働災害による死亡者数は、昭和36年をピーク(6,712人)として、長期的には減少傾向を示しており、平成27年以降は死亡者数が千人を下回り、令和2年は3年連続過去最少となる802人となりました。

死傷者数についても長期的には減少傾向を示していますが、平成21年(105,718人)を底に、増減を繰り返し、微小な増加傾向が見受けられます。令和2年は、前年に比べ5,545人増加し平成14年以降で最多となる131,156人(新型コロナウイルス感染症のり患による6,041人を含む)となりました。

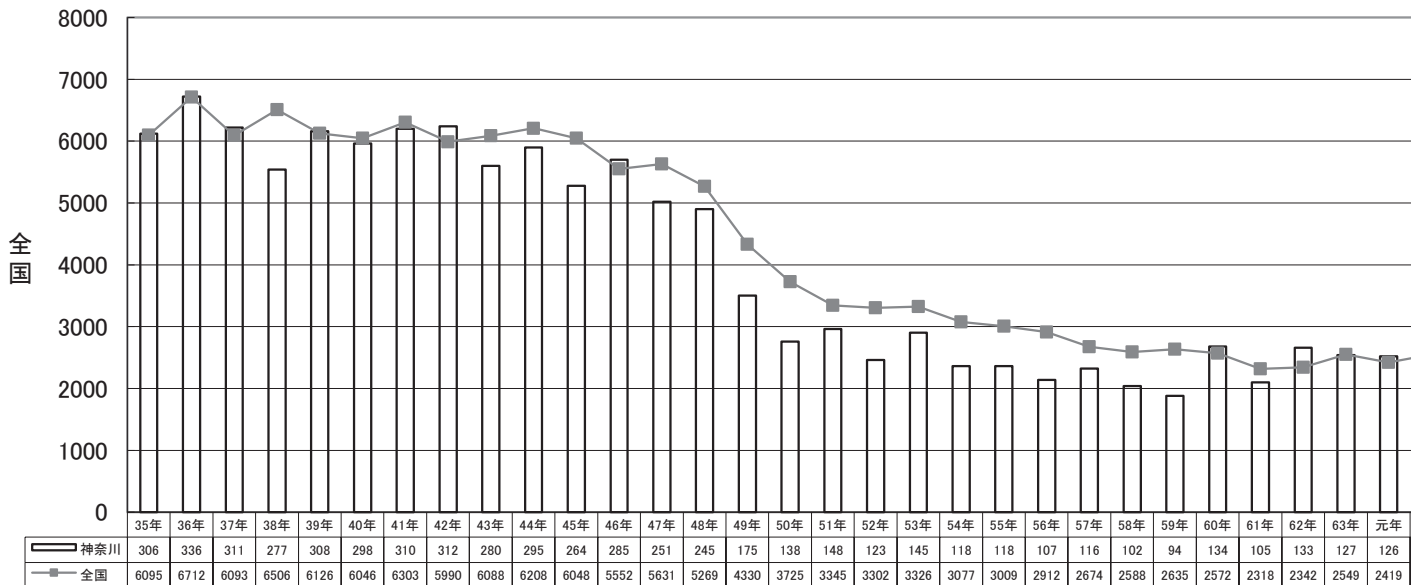
図1-1 労働災害による死傷者数の年次別推移



(全国データは労災給付データ及び労働者死傷病報告(労災非適)から作成。)

神奈川データは平成10年までは労災給付データ、平成11年以降は労働者死傷病報告から作成)

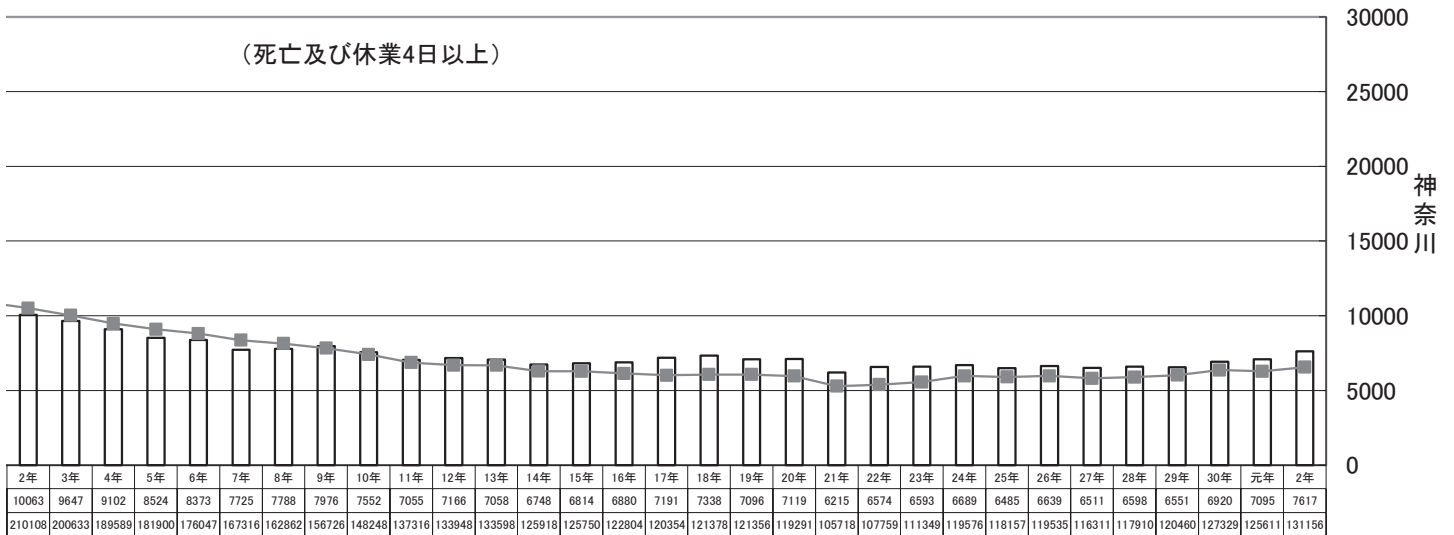
図1-2 労働災害による死亡者数の年次別推移



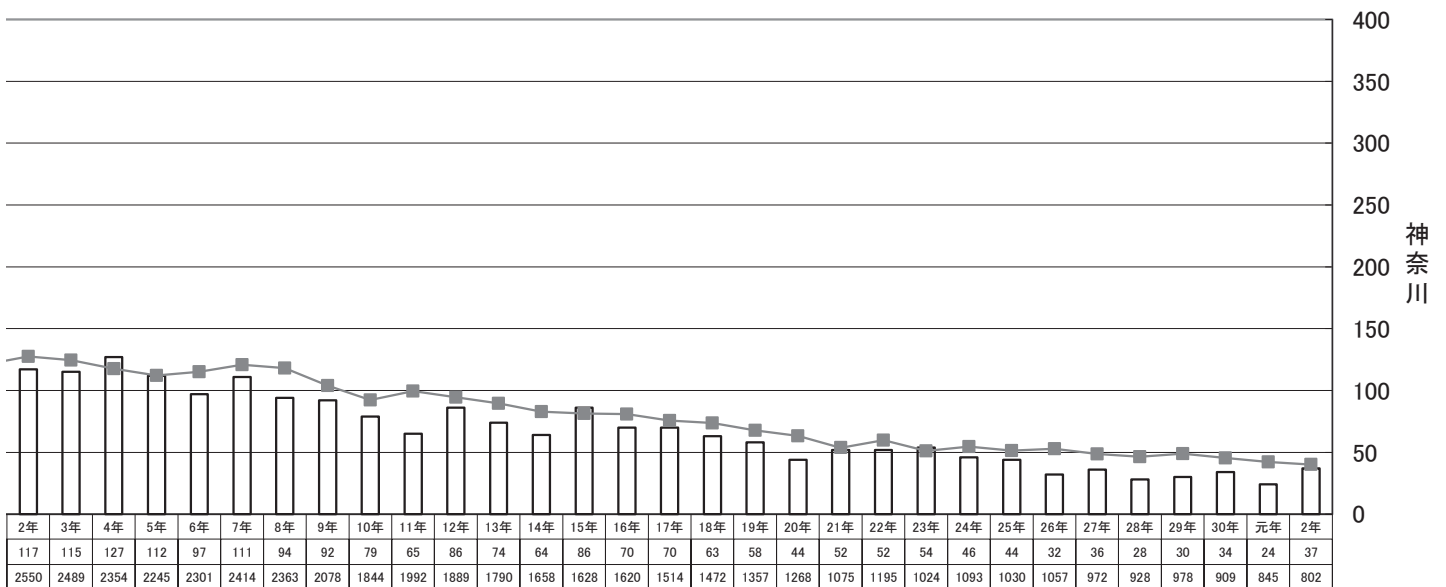
(死亡災害報告から作成)

神奈川労働局管内の労働災害による死亡者数は、昭和36年の336人をピークとして長期的に減少傾向にあり、令和元年(平成31年)には24人と過去最少となったものの、令和2年には大幅増加(前年からの増加人数が全国1位の13人)し平成26年以降最多となる37人となりました。

死傷者数も同様に長期的には減少傾向にありますが、平成21年(6,215人)を底に増減を繰り返し、令和2年は、前年に比べ522人増加し平成10年以降最多となる7,617人(新型コロナウイルスのり患による413人を含む)となりました。



(平成23年は東日本大震災を直接の原因とする死傷者数を除いた数)

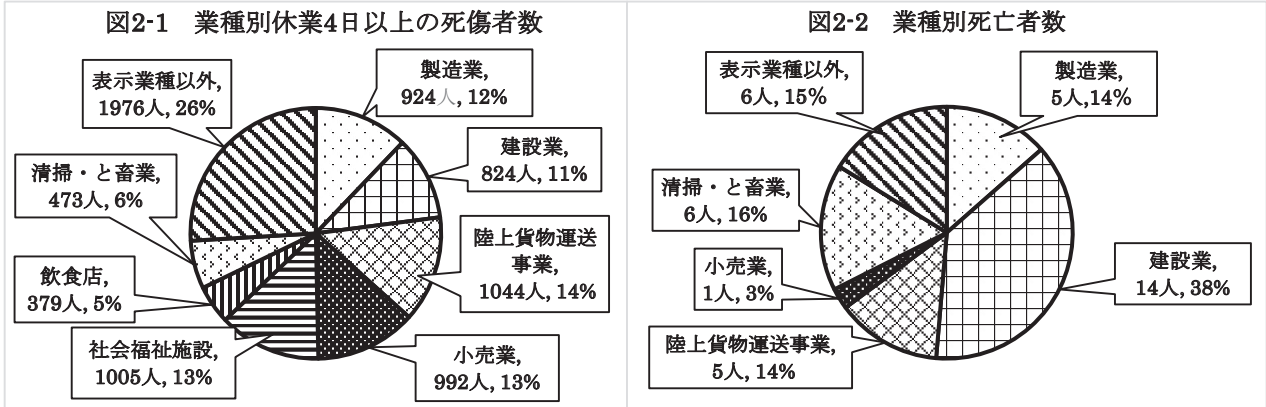


(平成23年は東日本大震災を直接の原因とする死亡者数を除いた数)

## 2 業種別災害比率

休業4日以上<sup>1</sup>の死傷者7,617人を主要業種別に見ると、陸上貨物運送事業1,044人(14%)、社会福祉施設1,005人(13%)、小売業992人(13%)、製造業924人(12%)の上位4業種で52%を占めています。(図2-1)

死亡者37人を主要業種別に見ると、建設業14人(38%)、清掃・と畜業6人(16%)、製造業5人(14%)、陸上貨物運送事業5人(14%)、小売業1人(3%)の順となっています。(図2-2)

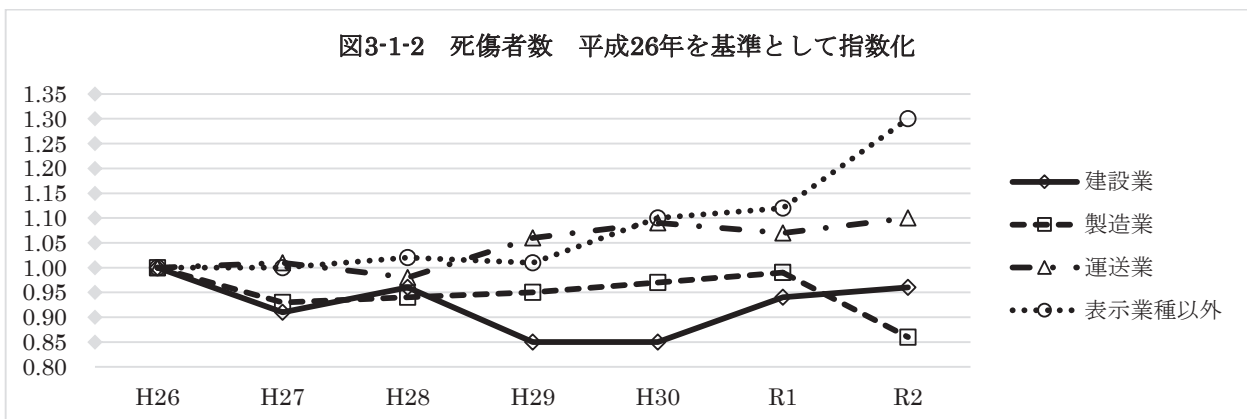
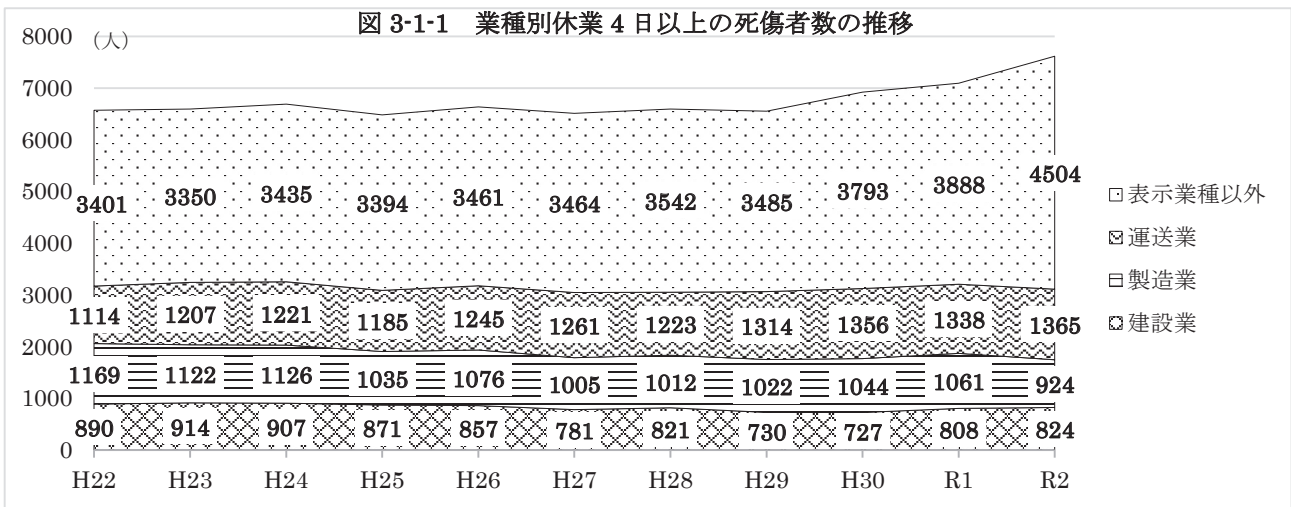


令和2年 神奈川県労働局労働者死傷病報告

令和2年 神奈川県労働局死亡災害報告  
※合計が100%となるよう「表示業種以外」の%の数値を調整しています。

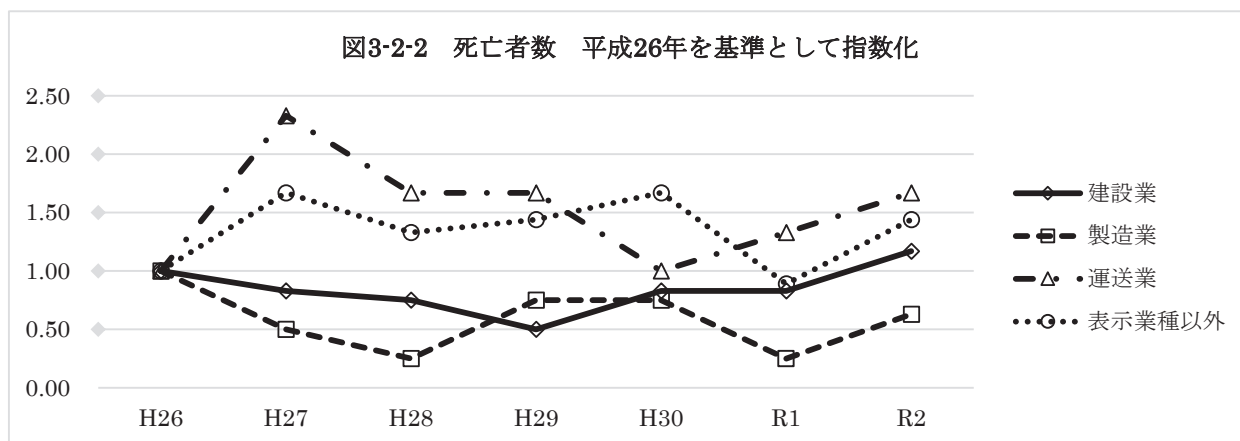
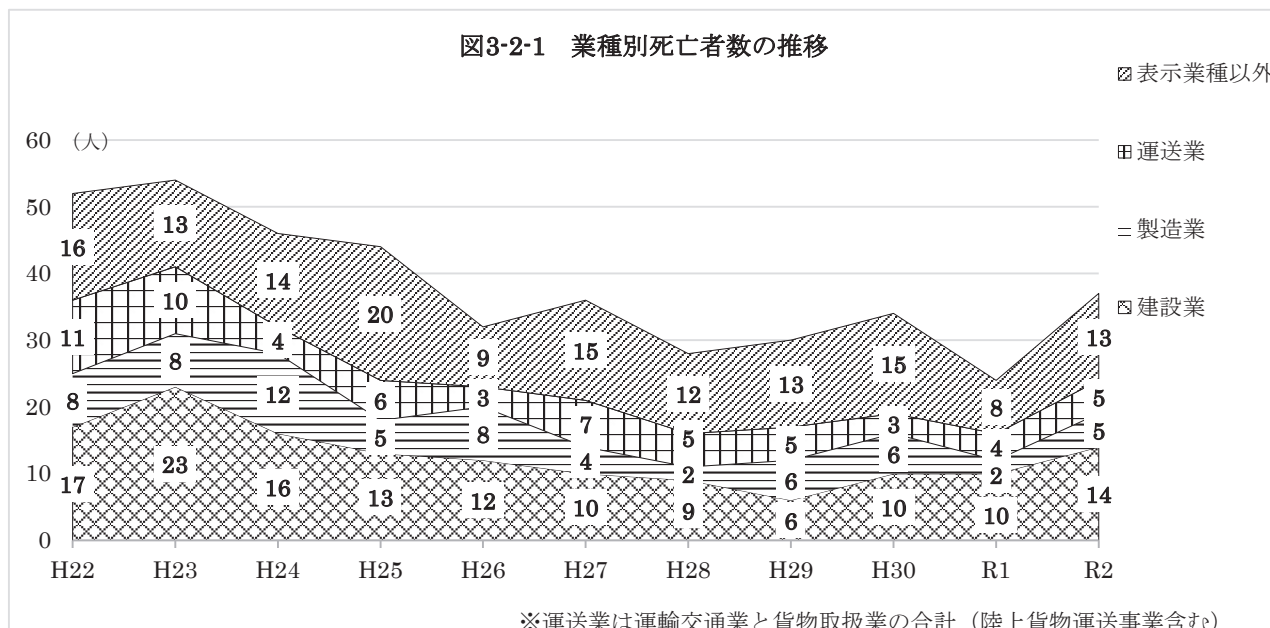
## 3 業種別労働災害の推移

死傷者数の推移は、製造業及び建設業が中長期的にほぼ横ばい。運送業（陸上貨物運送事業を含む運輸交通業と貨物取扱業の合計）及び第三次産業を中心とした業種が増加傾向となっています。(図3-1-1)(図3-1-2)





死亡者数は長期的に減少傾向にあり、令和元年（平成 31 年）は平成 28 年と並び、最少の人数となりました。しかしながら、令和 2 年は新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、多くの事業場が事業活動を縮小せざるを得ない状況であったにもかかわらず、対前年の 1.54 倍と近年にない大幅な増加となりました。（図 3-2-1）（図 3-2-2）



神奈川労働局死亡災害報告 \* 運送業は運輸交通業と貨物取扱業の合計（陸上貨物運送事業含む）

**STOP!**

転倒災害プロジェクト  
神奈川

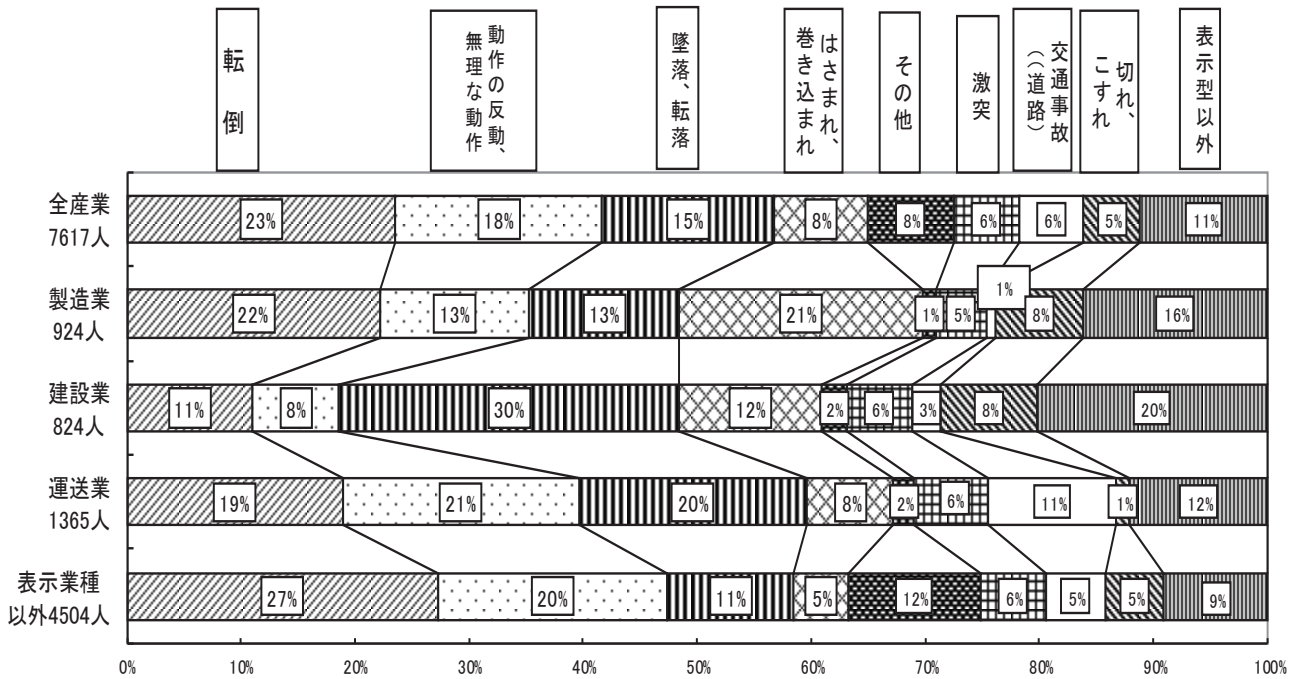
「滑り」「つまづき」「踏み外し」等による転倒災害を防止しましょう。

全ての作業従事者に労働災害防止を意識してもらうために、Safe Work の標語で安全作業を確認しましょう。

## 4 事故の型別災害発生状況

休業4日以上の死傷災害を事故の型別に分類すると、「転倒」(23%)が最も多く、次いで「動作の反動、無理な動作」(18%)、「墜落、転落」(15%)、「はさまれ、巻き込まれ」(8%)、「その他」(8%)の順(図4-1)(図4-3)となっています。死亡災害については、「墜落、転落」(32%)、「交通事故(道路)」(27%)の順(図4-2)になっています。第13次労働災害防止推進計画における重点業種、多発傾向にある業種については、下図(図4-1から図4-12)に示すとおりです。

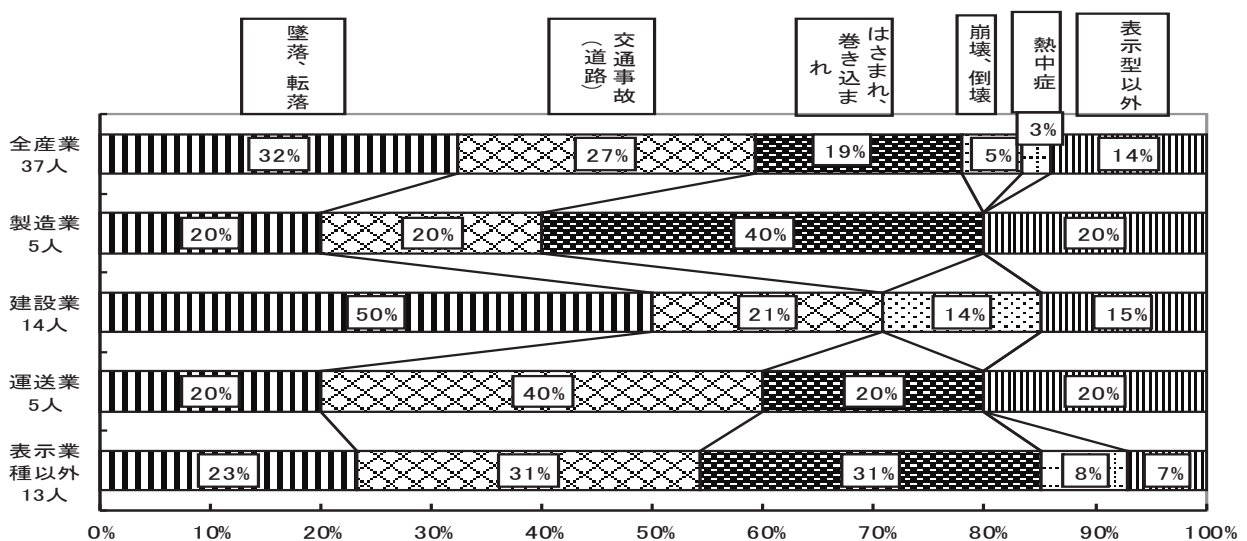
図4-1 事故の型別休業4日以上の死傷者割合



令和2年 神奈川労働局労働者死傷病報告 \*運送業は運輸交通業と貨物取扱業の合計(陸上貨物運送事業含む)

\*合計が100%となるよう「表示型以外」の%の数値を調整しています。

図4-2 事故の型別死亡者割合



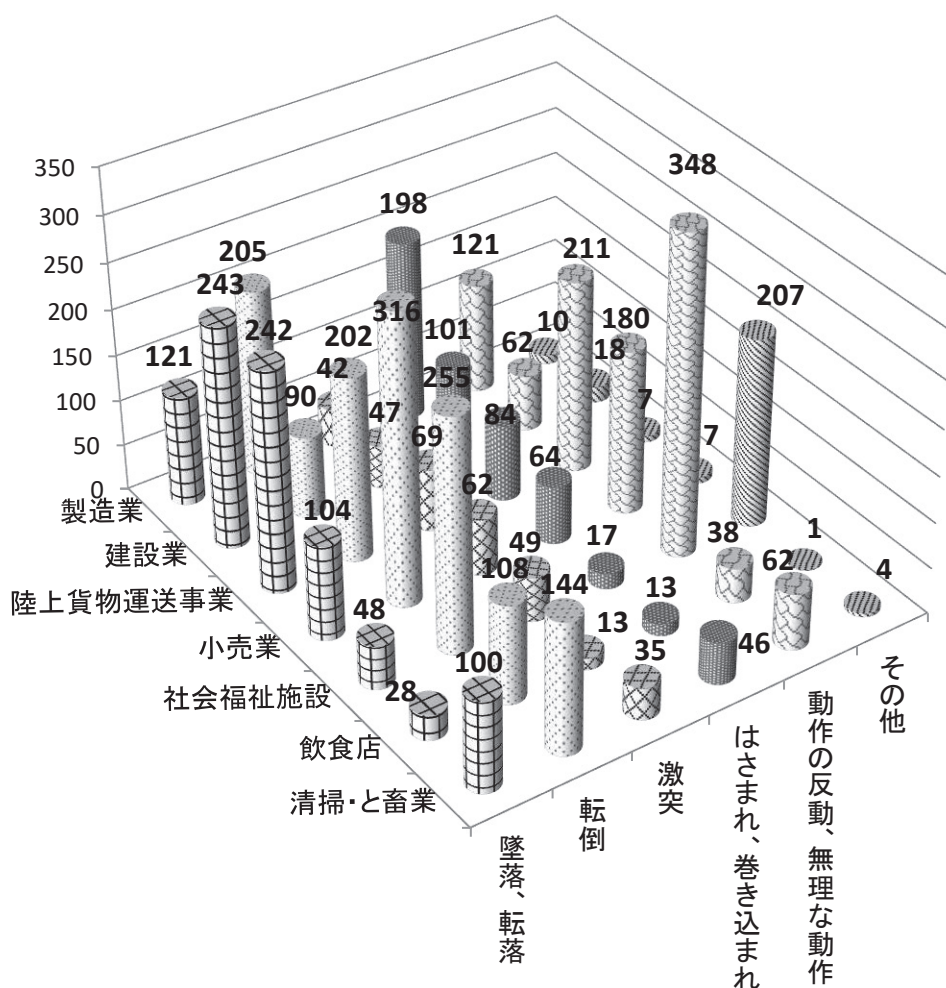
令和2年 神奈川労働局労働者死亡災害報告 \*運送業は運輸交通業と貨物取扱業の合計(陸上貨物運送事業含む)

\*合計が100%となるよう「表示型以外」の%の数値を調整しています。

## (1) 死傷災害の概要(図 4-3)

令和2年 神奈川県労働局労働者死傷病報告

労働災害が多く発生している業種について事故の型別に分類  
 新型コロナウイルスのり患は「その他」に分類

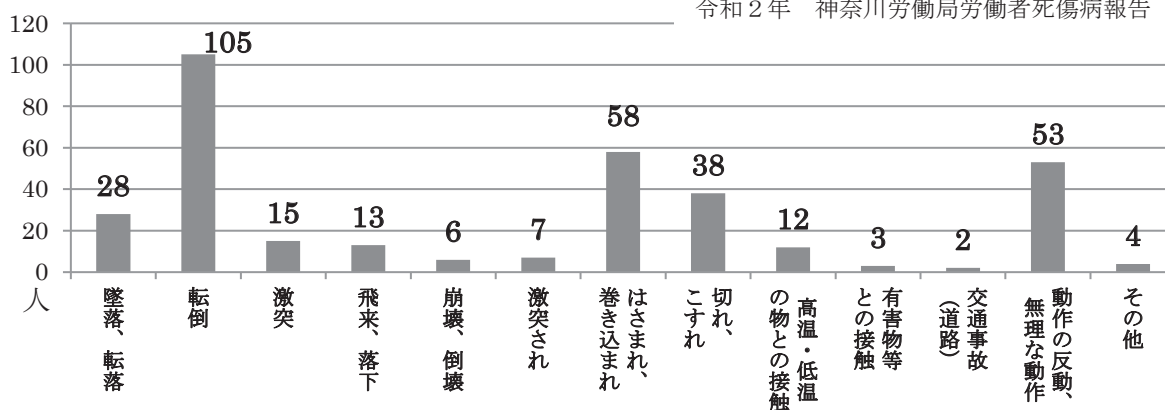


## (2) 食料品製造業死傷災害(図 4-4)

計 344 (0)

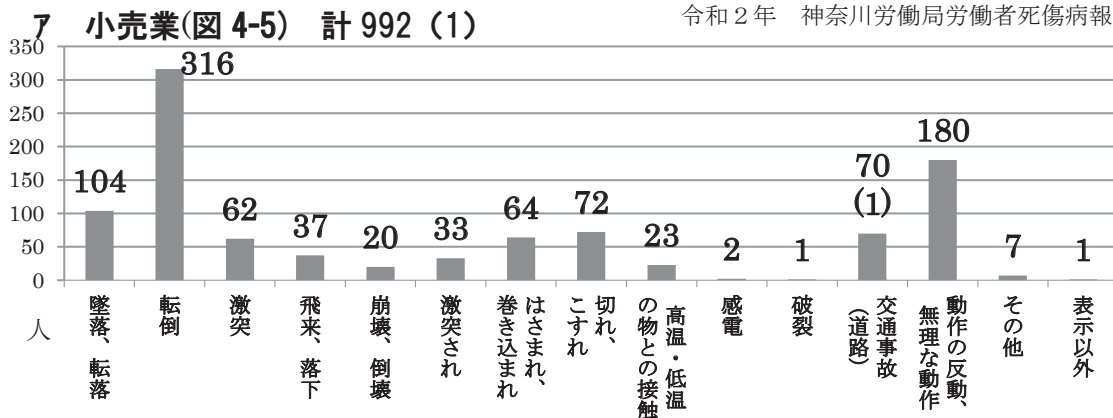
( ) は死亡者の数で内数 (以下同じ)

令和2年 神奈川県労働局労働者死傷病報告

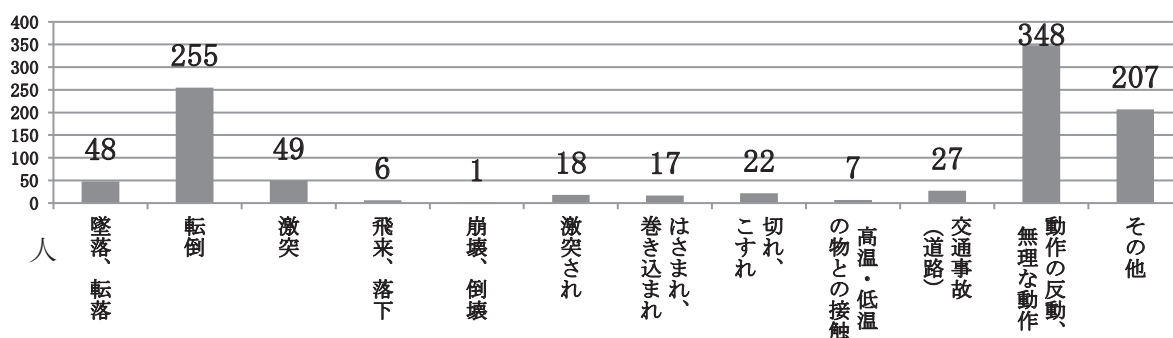


### (3) 第三次産業死傷災害

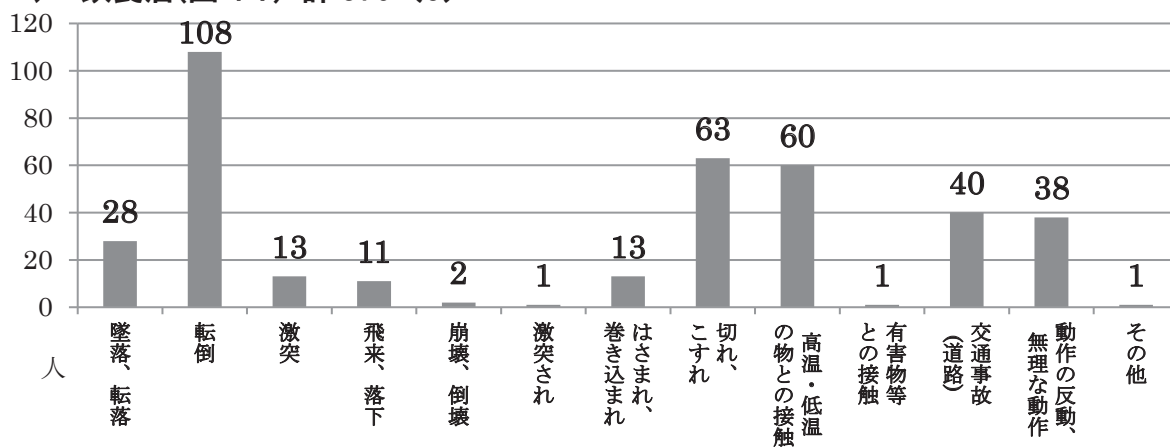
令和2年 神奈川県労働局労働者死傷病報告



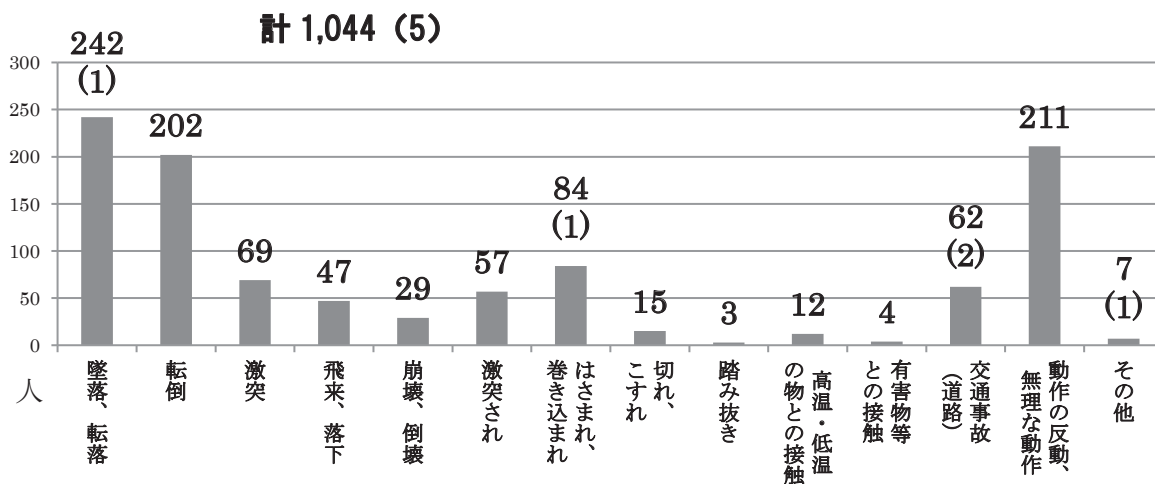
### イ 社会福祉施設(図 4-6) 計 1,005 (0)



### ウ 飲食店(図 4-7) 計 379 (0)

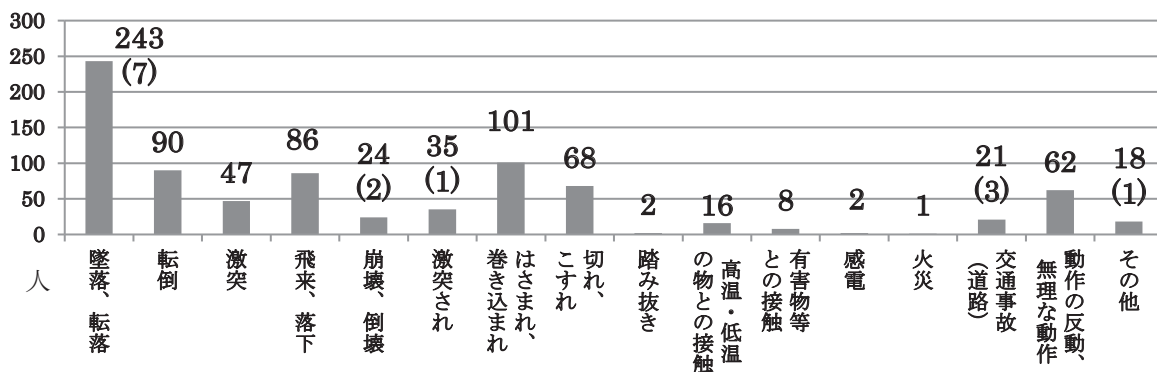


### (4) 陸上貨物運送事業(道路貨物運送業及び陸上貨物取扱業) 死傷災害(図 4-8)



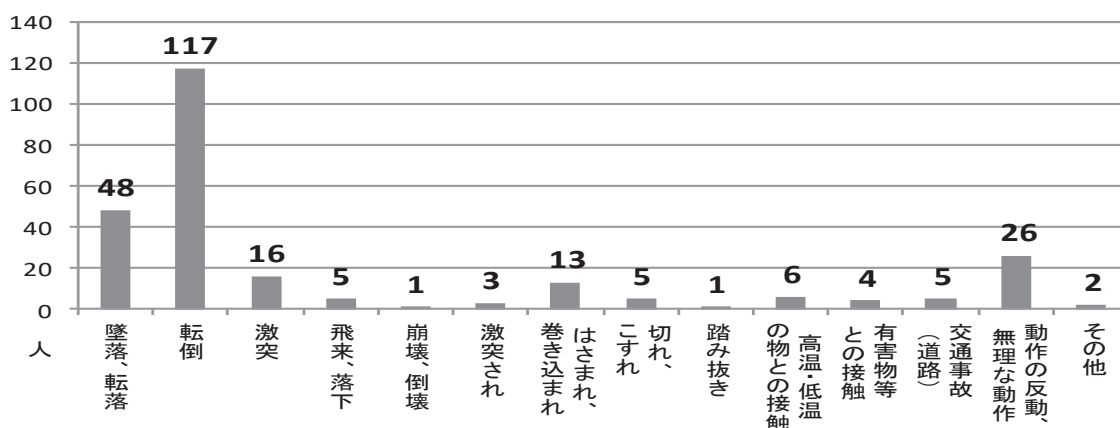
(5) 建設業死傷災害(図 4-9) 計 824 (14)

令和2年 神奈川県労働局労働者死傷病報告

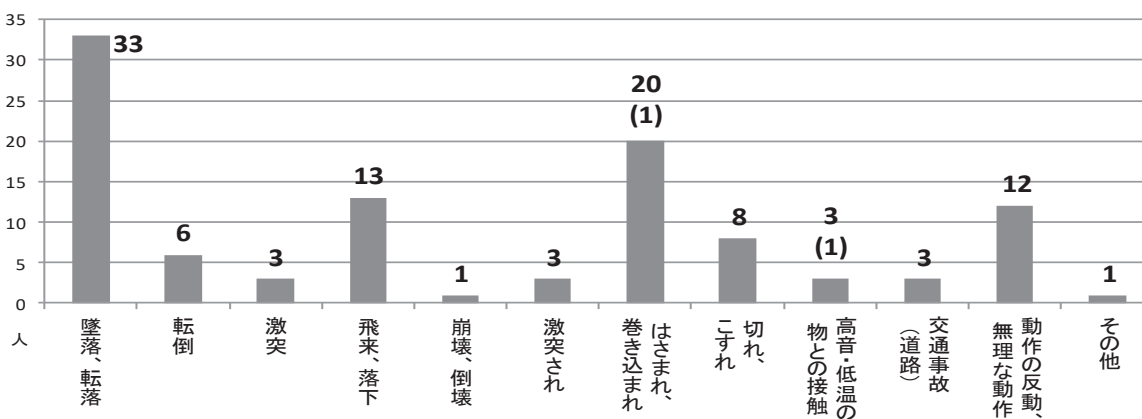


(6) 災害多発業種死傷災害

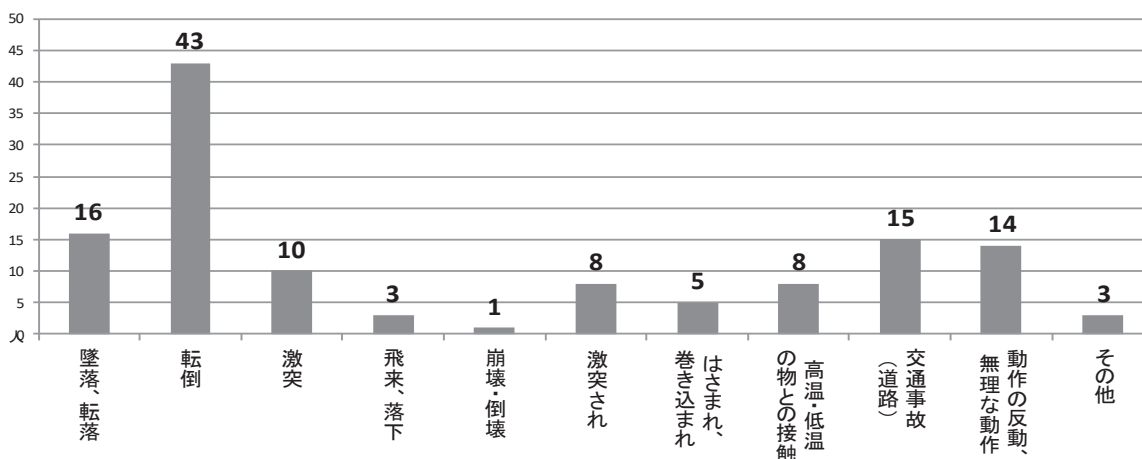
ア ビルメンテナンス業(図 4-10) 計 252 (0)



イ 産業廃棄物処理業(図 4-11) 計 106 (2)



ウ 警備業(図 4-12) 計 126 (0)

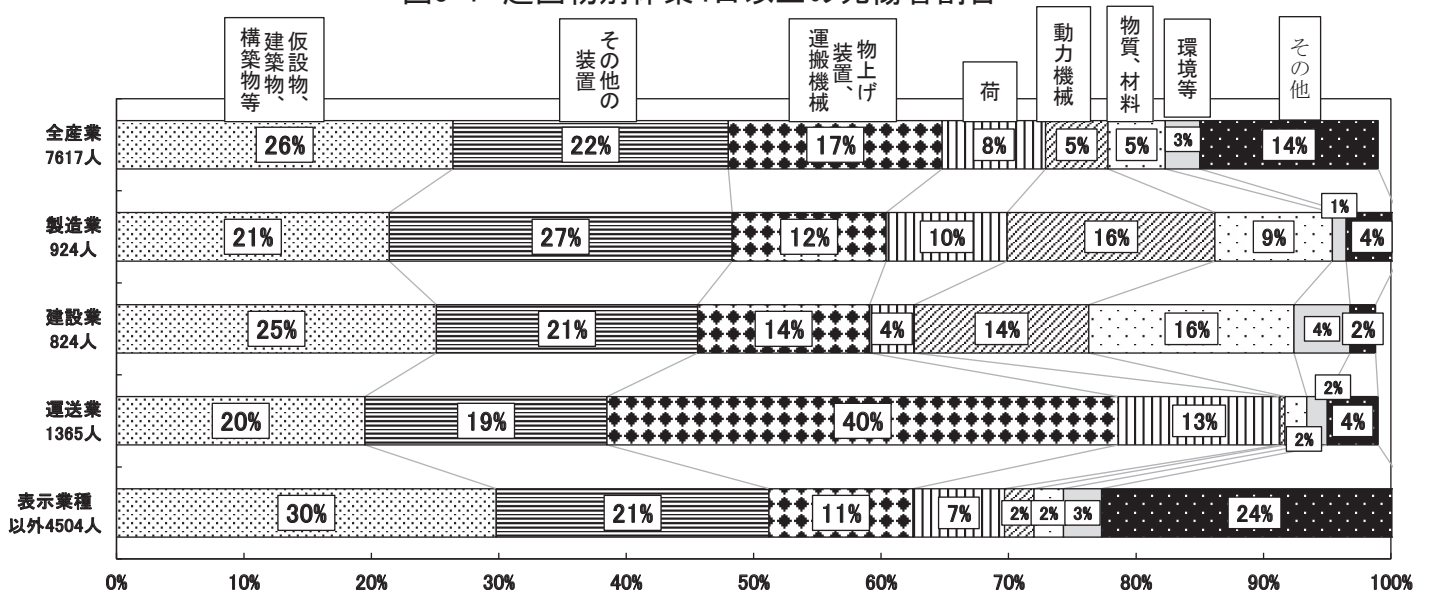


## 5 起因物別災害発生状況

休業4日以上<sup>1</sup>の死傷災害を起因物別に分類すると、「仮設物、建築物、構築物等」(26%)、「その他の装置等」(はしご、脚立、包丁、ねこ車、人力の車椅子等を含む)(22%)、「物上げ装置、運搬機械」(17%)の順(図5-1)であり、死亡災害は「物上げ装置、運搬機械」(41%)、「仮設物、建築物、構築物等」(22%)「環境等」(16%)、の順(図5-2)になっています。

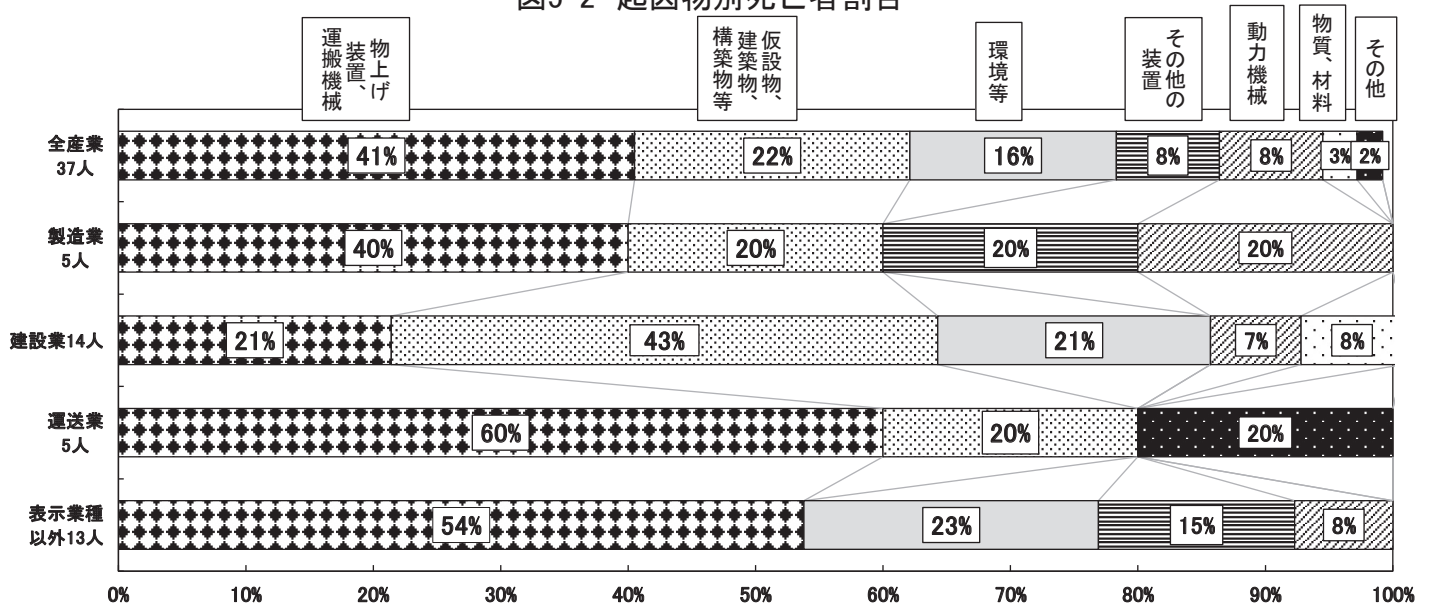
第13次労働災害防止推進計画における重点業種、多発傾向にある業種については、下図(図5-1から図5-11)に示すとおりです。

図5-1 起因物別休業4日以上<sup>1</sup>の死傷者割合



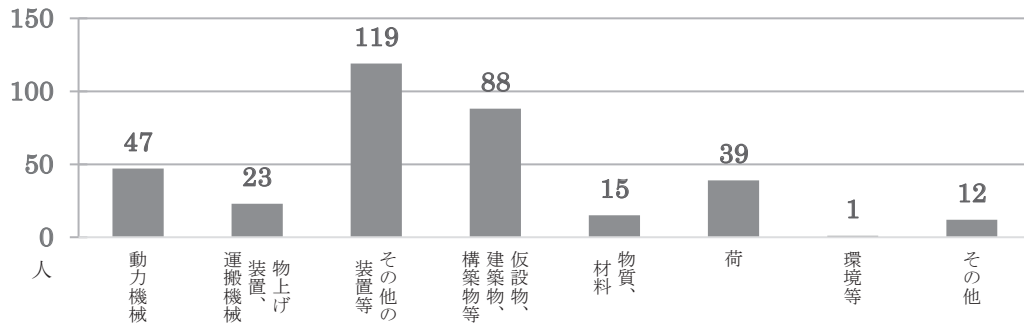
令和2年 神奈川県労働局労働者死傷病報告 \* 運送業は運輸交通業と貨物取扱業の合計(陸上貨物運送事業含む)  
\* 合計が100%となるよう「その他」の%の数値を調整しています。

図5-2 起因物別死亡者割合



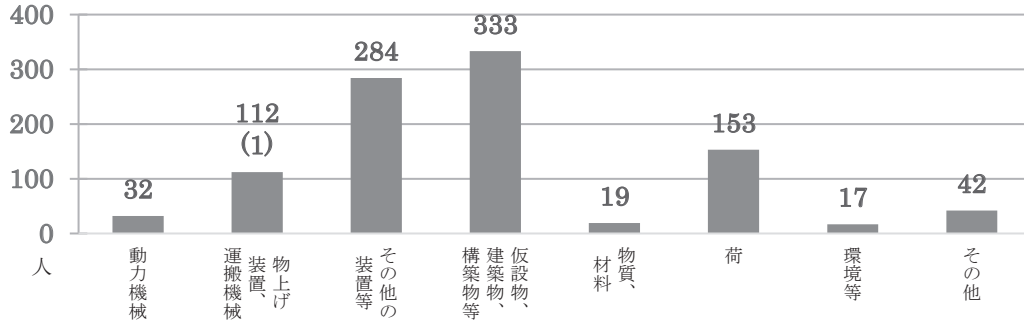
令和2年 神奈川県労働局死亡災害報告 \* 運送業は運輸交通業と貨物取扱業の合計(陸上貨物運送事業含む)  
\* 合計が100%となるよう「その他」又は「物質、材料」の%の数値を調整しています。

(1) 食料品製造業死傷災害(図 5-3) 計 344 (0) 令和2年 神奈川県労働局労働者死傷病報告

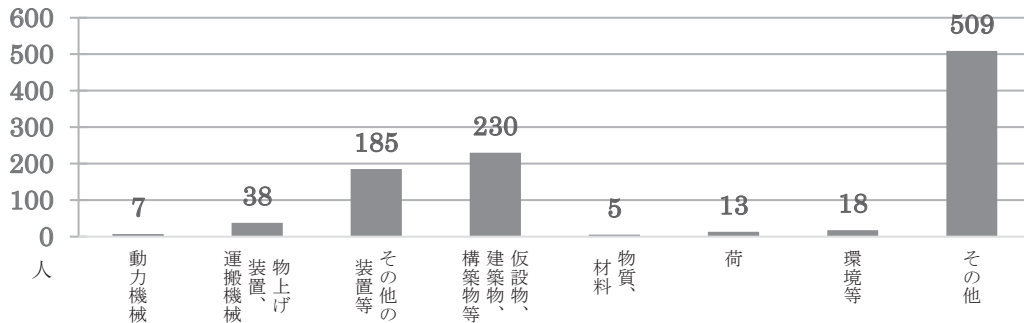


(2) 第三次産業死傷災害

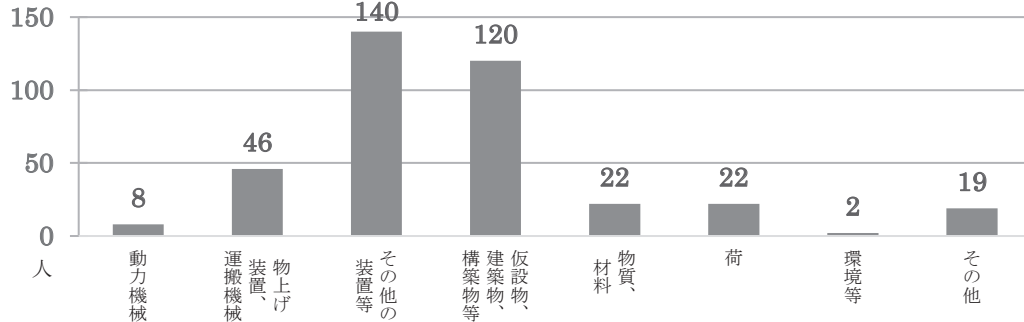
ア 小売業(図 5-4) 計 992 (1)



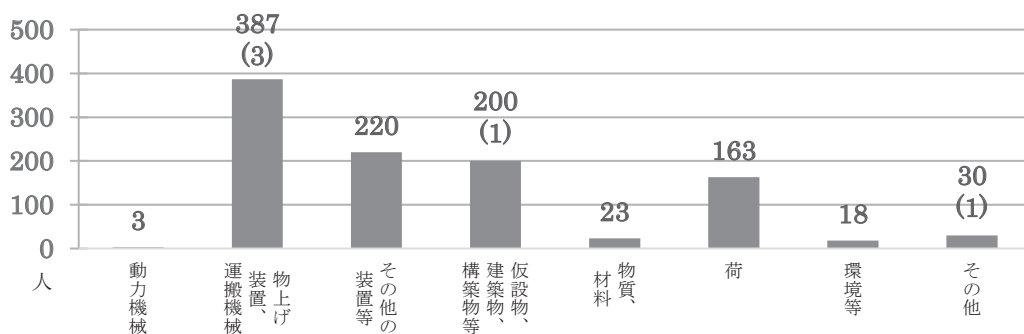
イ 社会福祉施設(図 5-5) 計 1,005 (0)



ウ 飲食店(図 5-6) 計 379 (0)

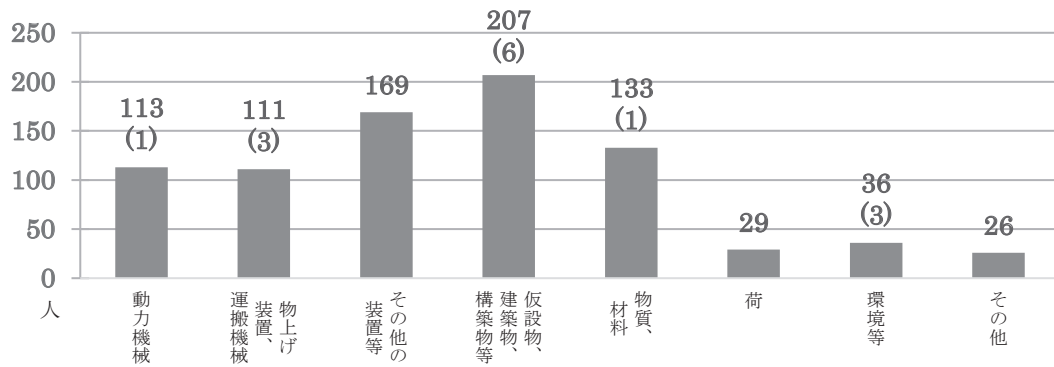


(3) 陸上貨物運送事業(道路貨物運送業及び陸上貨物取扱業) 死傷災害(図 5-7) 計 1,044 (5)



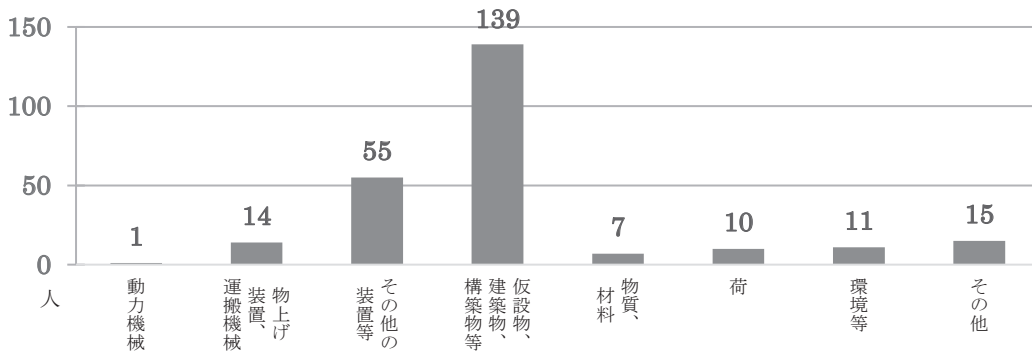
**(4) 建設業死傷災害(図 5-8) 計 824 (14)**

令和2年 神奈川県労働局労働者死傷病報告

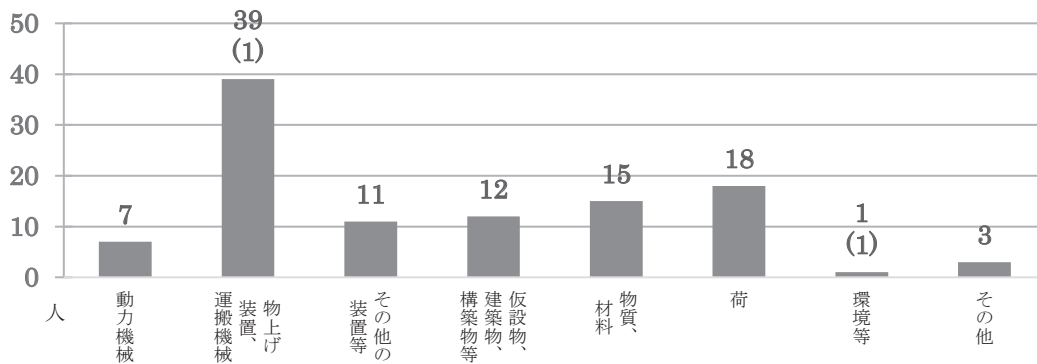


**(5) 災害多発業種死傷災害**

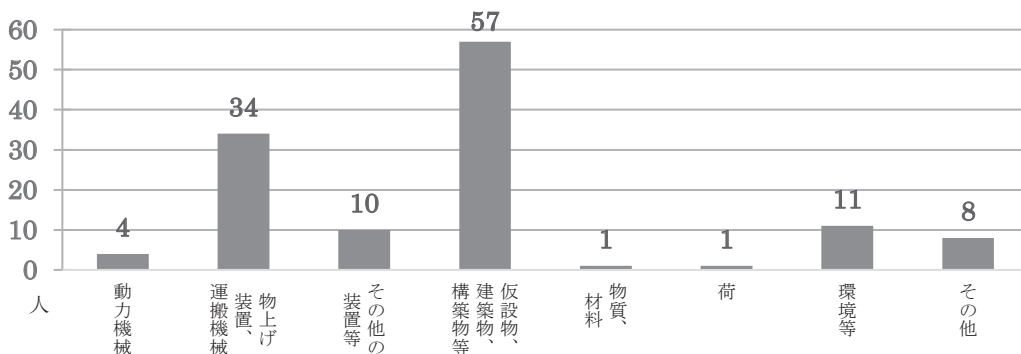
**ア ビルメンテナンス業(図 5-9) 計 252 (0)**



**イ 産業廃棄物処理業(図 5-10) 計 106 (2)**



**ウ 警備業(図 5-11) 計 126 (0)**

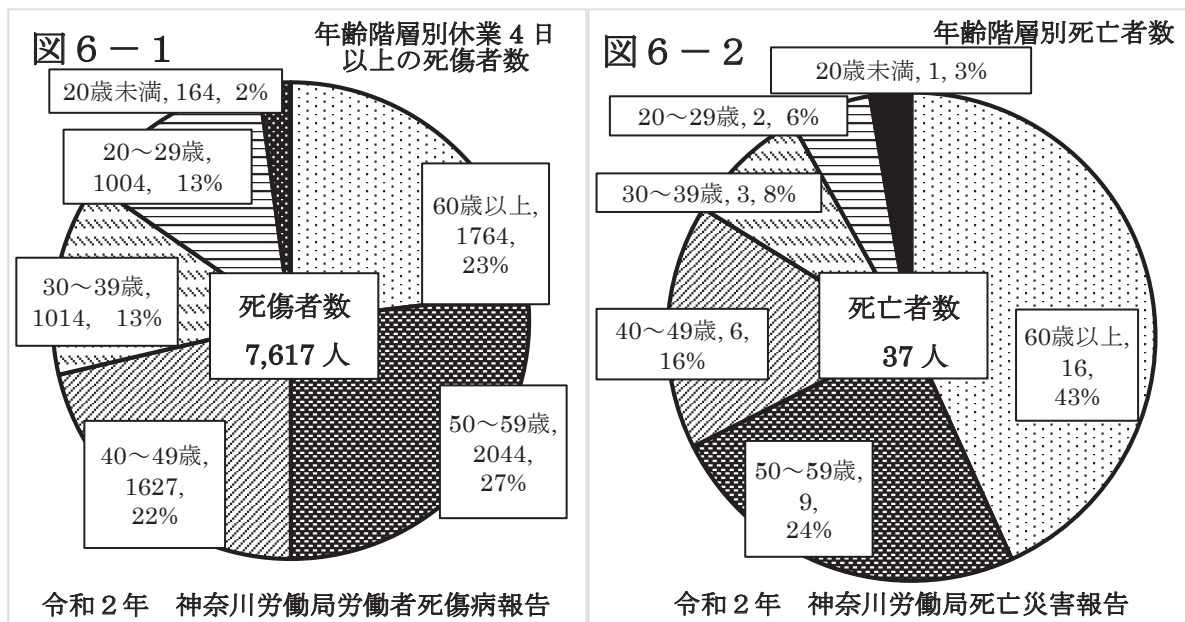




## 6 年齢階層別災害発生状況

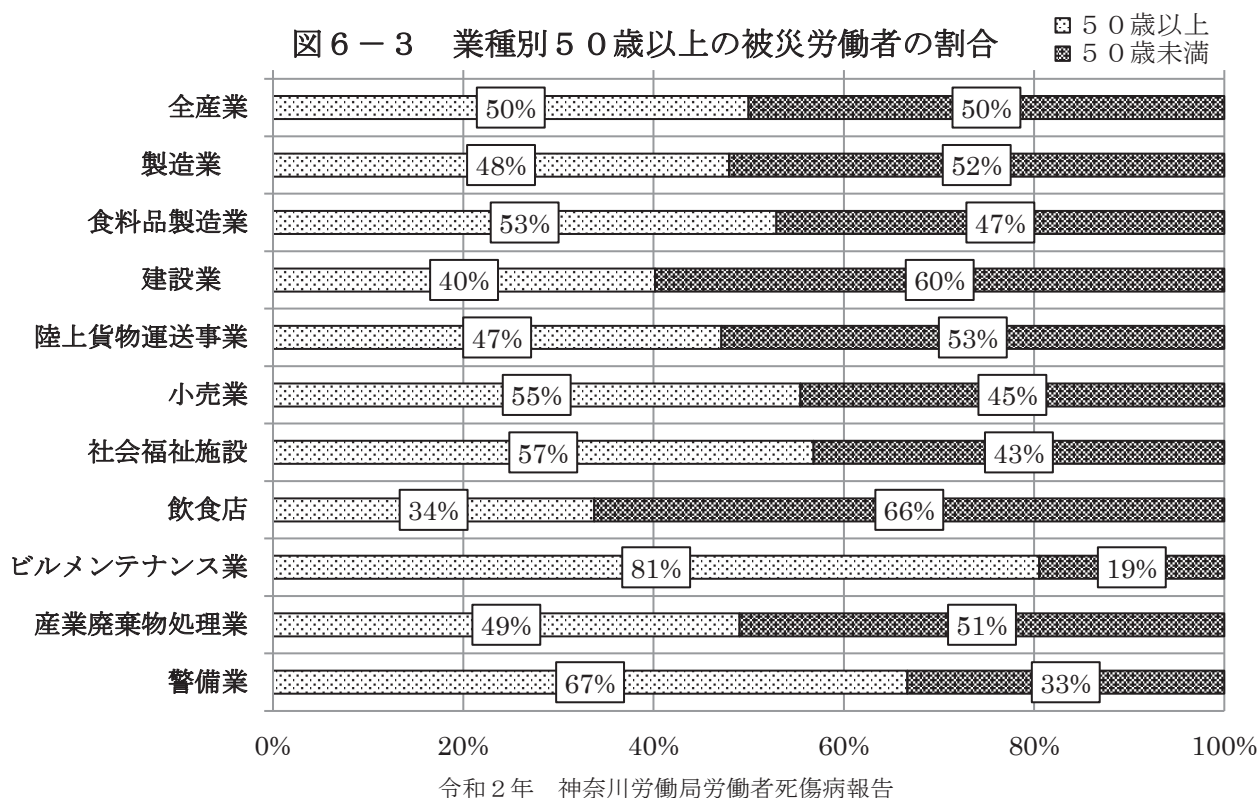
休業4日以上之死傷者数を年齢階層別に見ると、50～59歳の層が全体の27%を占め、過去（平成10年の年齢階層別統計開始以降）最大の人数となりました。（図6-1）

死亡者数を年齢階層別に見ると、50歳以上の層が占める割合が、2年連続60%以上となりました。また、60歳以上の層の割合は過去（平成10年の年齢階層別統計開始以降）最大となる43%となりました。（図6-2）



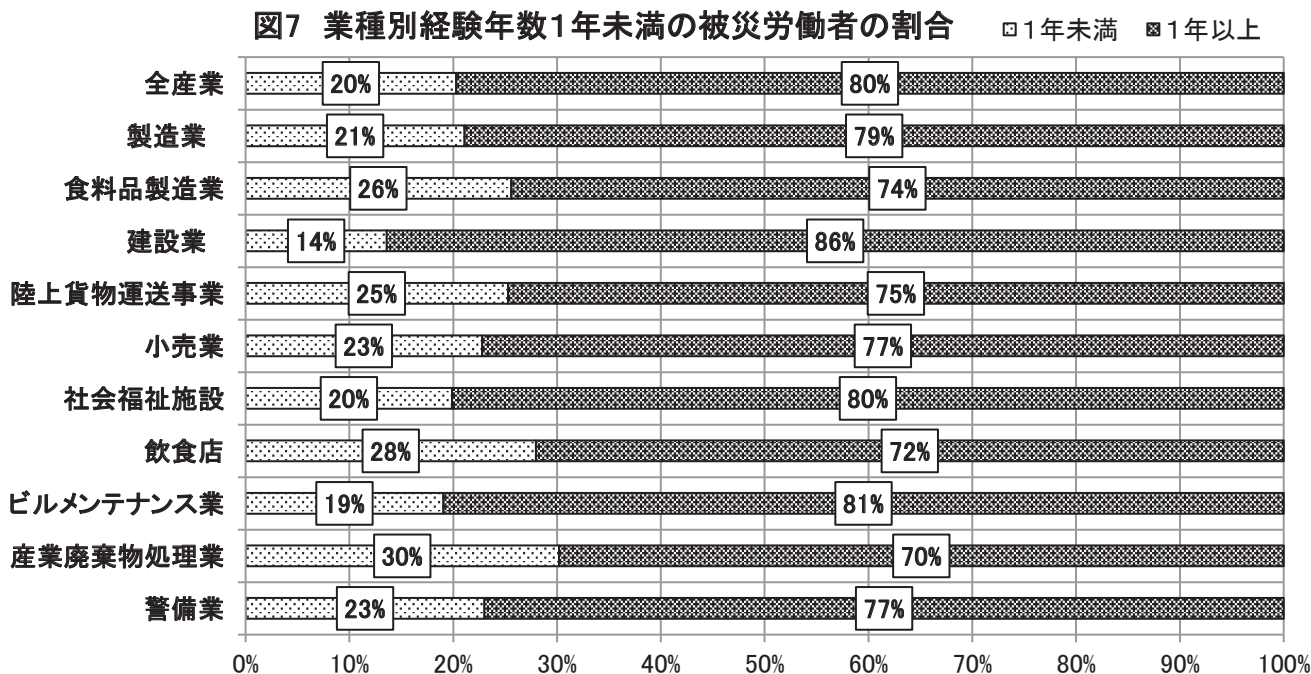
（※図6-1、6-2は合計が100%となるよう一部の数値を調整しています。）

50歳以上の労働者が全被災者に占める割合を業種別（第13次労働災害防止推進計画の重点業種や年間100人を超えた業種）で見ると、ビルメンテナンス業81%、警備業67%、社会福祉施設57%等が全産業50%に比べ高い比率になっています。（図6-3）



## 7 経験年数別災害発生状況

休業4日以上の死傷者数のうち、経験年数が1年未満で被災した労働者数の割合は全産業で20%を占めています。業種別では産業廃棄物処理業が30%と最も高く、飲食店28%、食料品製造業26%の順となっています。(図7)



## 8 交通労働災害発生状況

交通労働災害による死亡者数の推移については、全労働災害の死亡者数に占める交通労働災害の死亡者数の割合は、平成22年から減少傾向を示していたものの、平成26年に大幅に増加し、平成27年に減少があった以降、増加傾向を示しています。(図8-1)

過去5年間の交通労働災害による死亡者を業種別に見ると、建設業が24%と最も多く、次いで、運送業21%、商業17%の順となっています。(図8-2)

図8-1 交通労働災害 死亡者数の推移

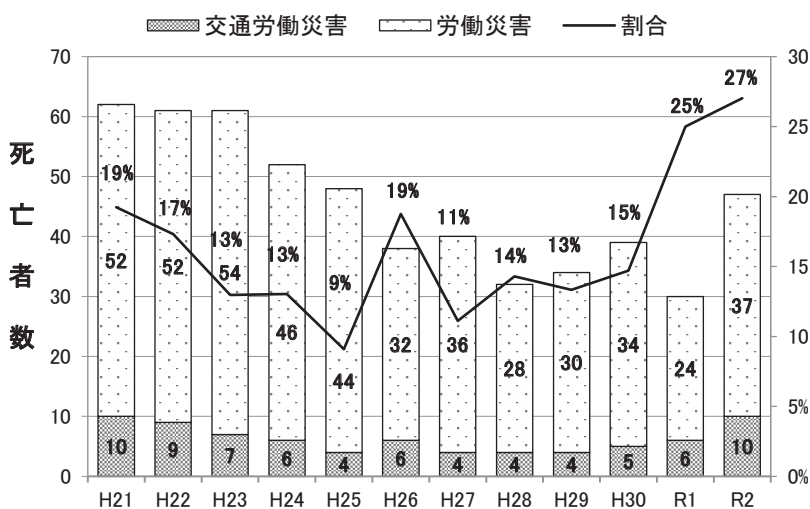
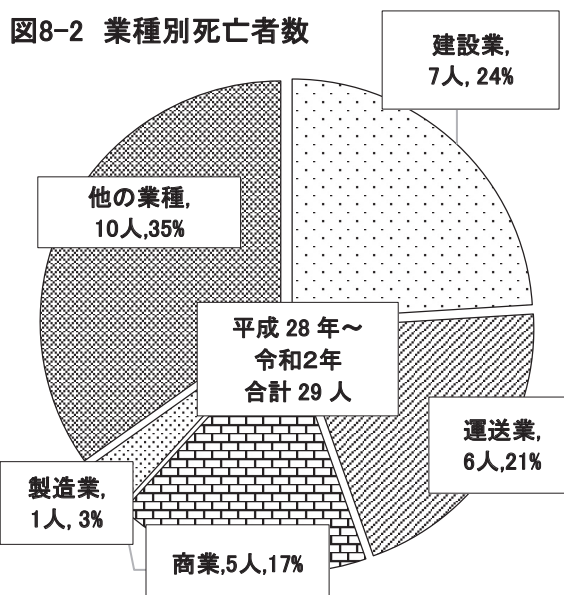


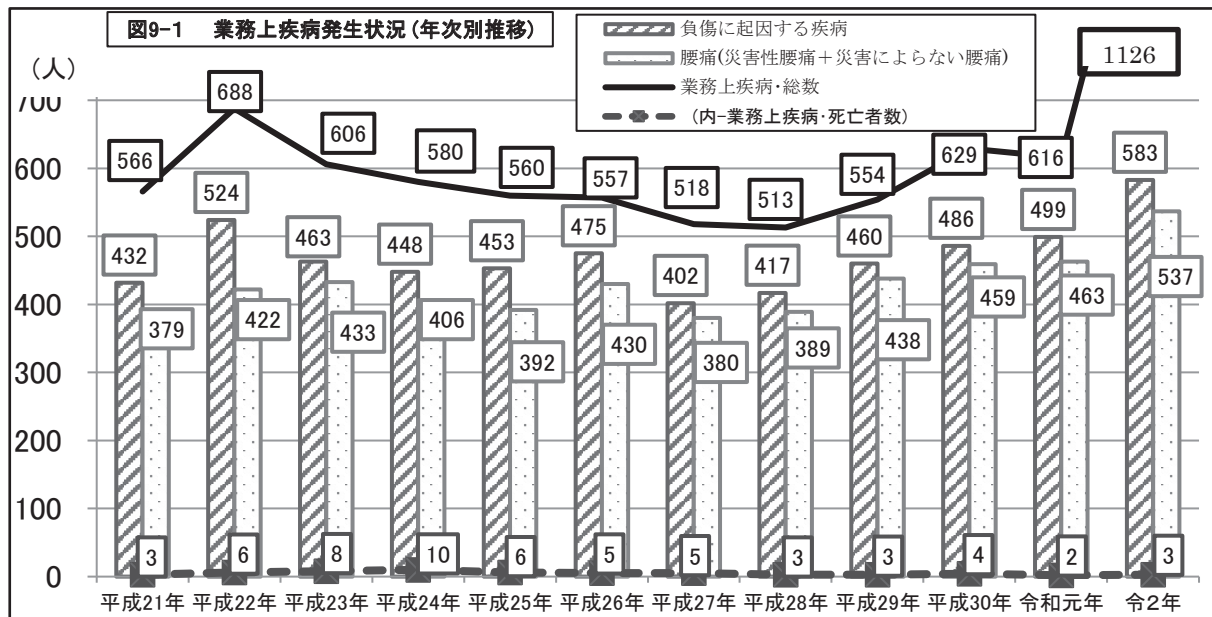
図8-2 業種別死亡者数



## 9 業務上疾病発生状況

休業4日以上の業務上疾病人数は、長期的に緩やかな減少傾向にありましたが、平成29年以降徐々に増加し、令和2年は新型コロナウイルス感染症などによって1,126人と大幅に増加しています。業務上疾病の内訳は、負傷に起因する疾病が583人と最も多く、その多くは災害性腰痛(536人)が占めています。(図9-1-9-3、表9-1)

令和2年の業務上疾病による死亡者数は3人で、脳・心臓疾患、熱中症、そして蜂に刺されアナフィラキシーショックによるものでした。平成25年～令和2年の8年間でみると、業務上疾病による死亡者数31人のうち、脳・心臓疾患が16人で最も多く、次に熱中症の10人、酸欠・一酸化炭素中毒等が2人、精神障害(自殺)が1人、化学物質・有害物質へのばく露が1人となっています。(図9-2-9-4)



| 疾病分類                 | 年次               | 平成24年    | 平成25年   | 平成26年   | 平成27年   | 平成28年   | 平成29年   | 平成30年   | 令和元年    | 令和2年      |
|----------------------|------------------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|
| 負傷に起因する疾病 総数         |                  | 448      | 453     | 475     | 402     | 417     | 460     | 486     | 499     | 583       |
| うち災害性腰痛              |                  | 406      | 392     | 429     | 379     | 384     | 434     | 450     | 462     | 536       |
| うち死亡者数               |                  | 0        | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 1         |
| 物理的因子                | 有害光線による疾病        | 1        | 1       |         | 2       |         | 1       |         |         |           |
|                      | 電離放射線による疾病       |          |         |         |         |         |         |         |         |           |
|                      | 異常気圧下における疾病      | 1        |         |         |         |         |         |         | 1       | 1         |
|                      | 異常温度条件による疾病      | 29       | (3) 42  | (1) 25  | 32      | 26      | 34      | (4) 78  | (1) 54  | (1) 57    |
|                      | 騒音による耳の疾病        | 1        |         |         |         | 1       |         |         | 2       | 1         |
|                      | 上記以外の原因による疾病     | 7        |         |         | 1       | 1       | 1       |         | 1       | 0         |
| 作業態様                 | 重激業務による運動器疾患と内臓脱 | 10       | 1       | 2       | 1       | 4       | 5       | 3       | 1       | 0         |
|                      | 負傷によらない業務上の腰痛    |          |         | 1       | 1       | 5       | 4       | 9       | 1       | 1         |
|                      | 振動障害             |          |         |         |         |         |         |         |         |           |
|                      | 手指前腕の障害及び頸肩腕症候群  | 12       | 20      | 9       | 13      | 19      | 12      | 19      | 25      | 19        |
| 質物学                  | 上記以外の原因による疾病     | 5        | 4       | 2       | 2       | 2       | 1       | 7       | 5       | 2         |
|                      | 酸素欠乏症            |          |         |         | (1) 1   | 1       |         |         |         |           |
|                      | 化学物質による疾病(がんを除く) | (1) 12   | 8       | (2) 5   | 17      | 8       | 6       | 5       | 9       | 16        |
|                      | じん肺症及びじん肺合併症     | 12       | 7       | 12      | 6       | 7       | 8       | 3       | 2       | 1         |
| 病原体による疾病             | 16               | 11       | 9       | 27      | 10      | 8       | 10      | 8       | 438     |           |
| がん原生物質等による疾病         |                  |          |         |         |         |         |         |         |         |           |
| 過重な業務による脳血管疾患・心臓疾患等  | —                | —        | (1) 3   | (4) 4   | (3) 5   | (3) 5   | 4       | (1) 2   | (1) 2   |           |
| 強い心理的負荷を伴う業務による精神障害  | —                | —        | (1) 1   | 4       | 4       | 4       | 1       | 2       | 5       |           |
| その他の業務に起因することの明らかな疾病 | (9) 26           | (3) 13   | 19      | 5       | 2       | 5       | 3       | 4       | 0       |           |
| 合計                   |                  | (10) 580 | (6) 560 | (5) 557 | (5) 518 | (3) 513 | (3) 554 | (4) 629 | (2) 616 | (3) 1,126 |

注1 労働者死傷病報告により休業4日以上の業務上疾病災害の数を集計、( )内は死亡数で内数である。  
 注2 じん肺症及びじん肺合併症については、当該年次に療養が必要と決定された人数である。  
 注3 脳血管・心臓疾患等、精神障害等については平成26年から集計している。

図・表の統計数値—いずれも、(じん肺症及びじん肺合併症を除き) 神奈川労働局 労働者死傷病報告 から

図9-2 業務上疾病による死亡災害（平成25年～令和2年）[計 31人]

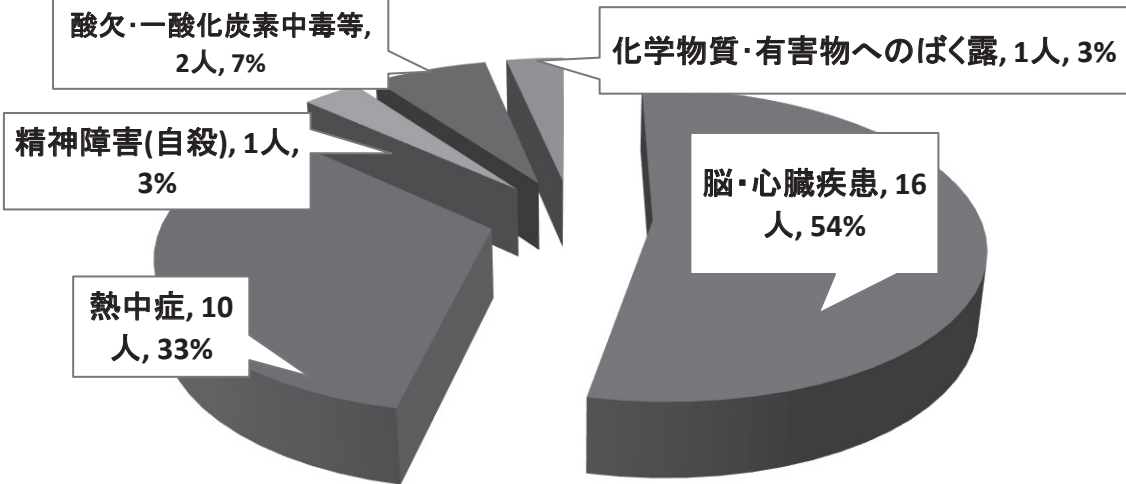


図9-3 腰痛災害発生状況（令和2年）

（災害性腰痛＋負傷によらない腰痛）

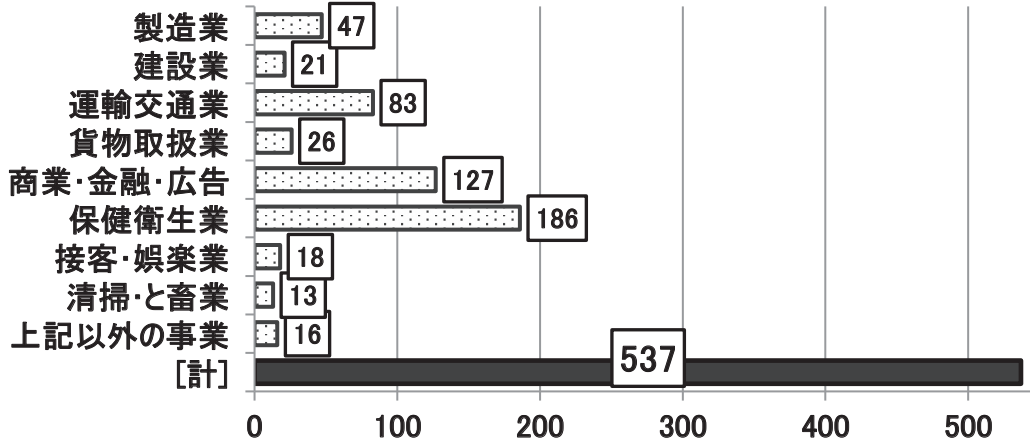
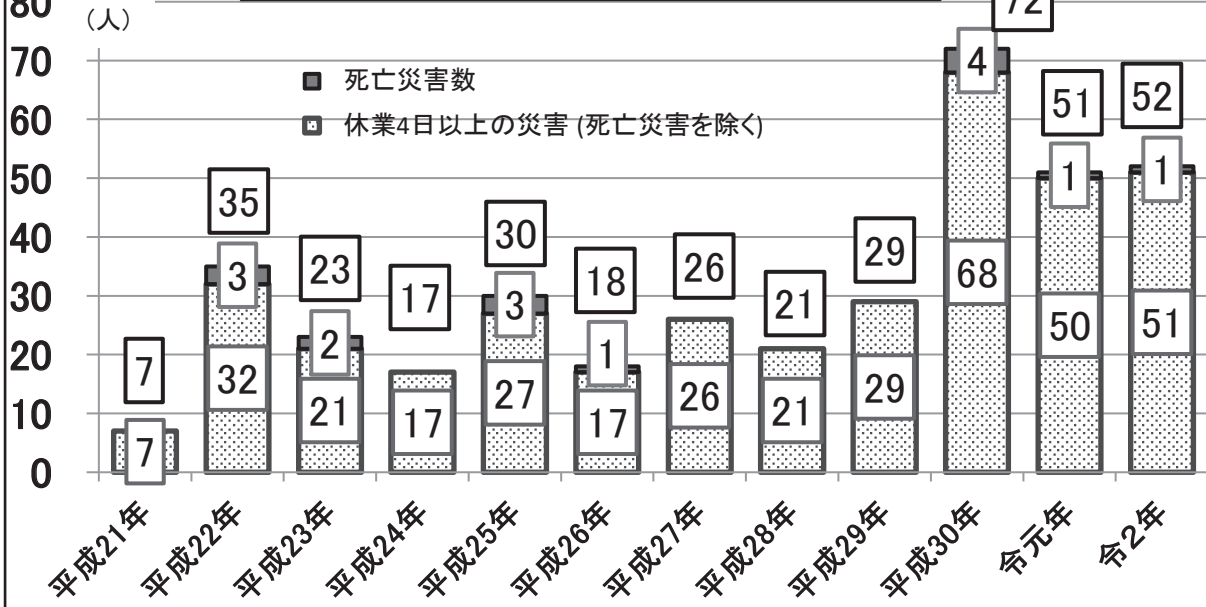


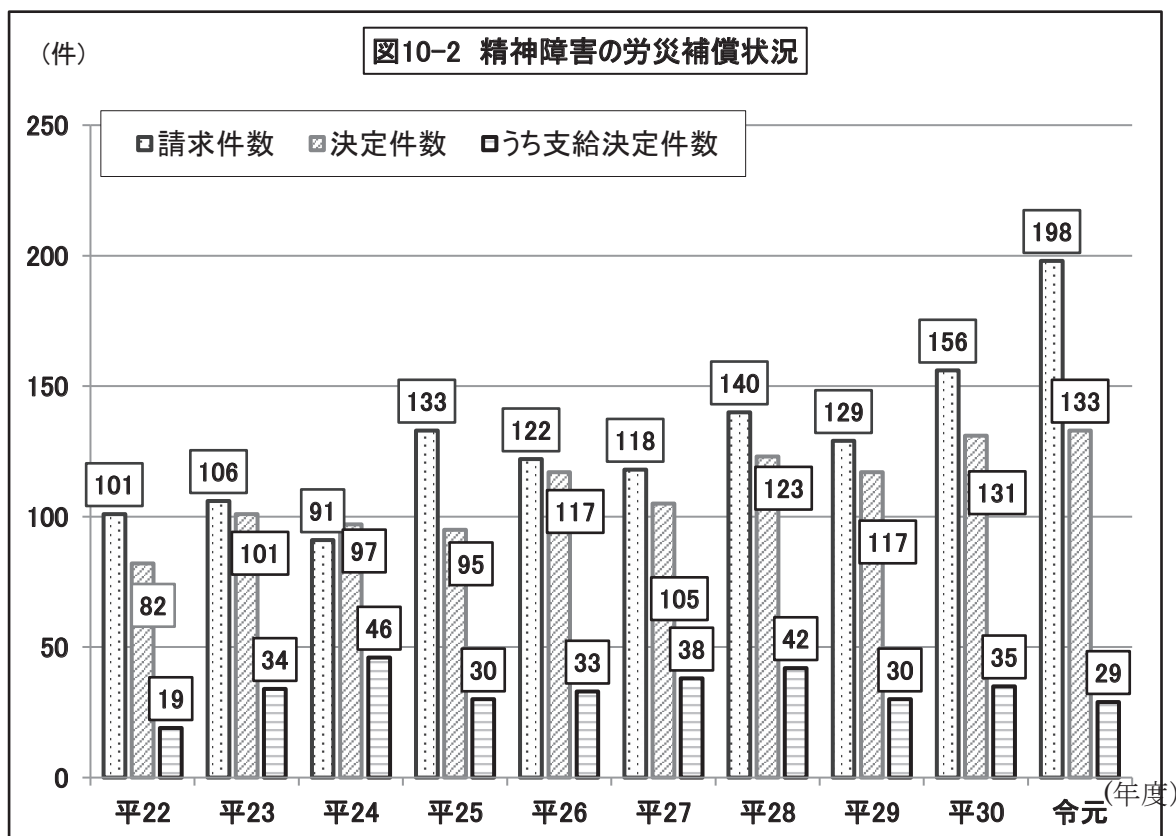
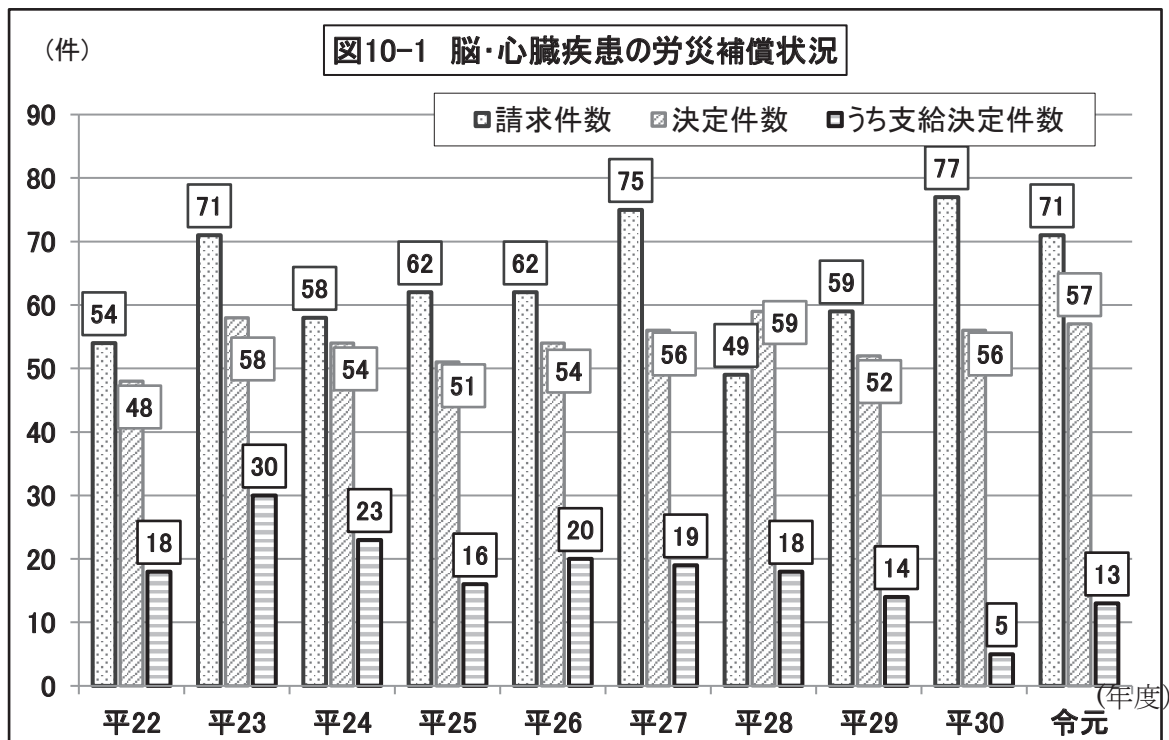
図9-4 年次別 熱中症による労働災害発生状況



図・表の統計数値—いずれも、神奈川県労働局 労働者死傷病報告 から

## 10 労災保険給付等状況(脳・心臓疾患及び精神障害)

令和元年度の労災保険給付における脳・心臓疾患の請求件数は71件(前年度比△6件)、業務上としての労災支給決定件数は13件(前年度比+8件)、精神障害等の請求件数は198件(前年度比+42件)、業務上支給決定件数は29件(前年度比△6件)でした。(図10-1・10-2)



(神奈川労働局 労災補償課調べ)

# 11 健康診断結果

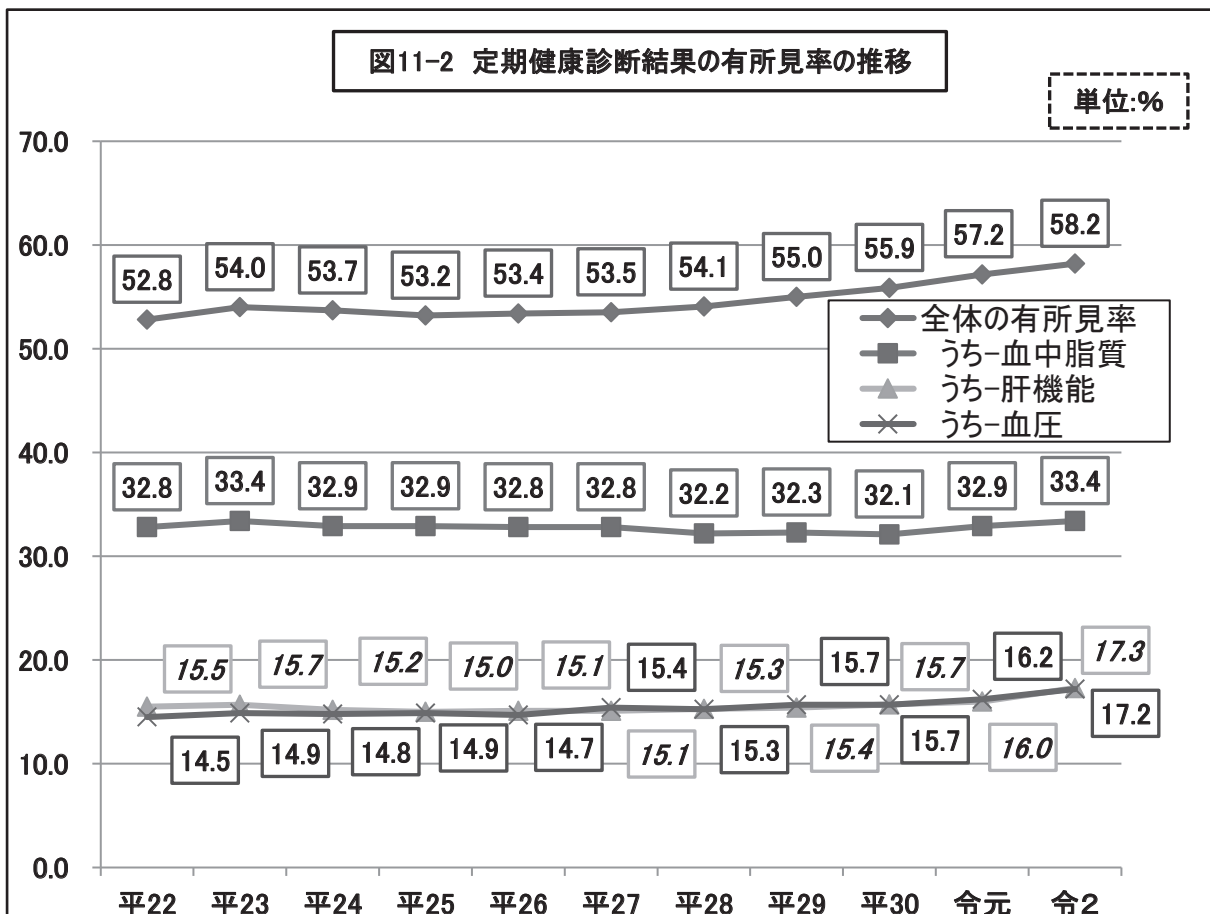
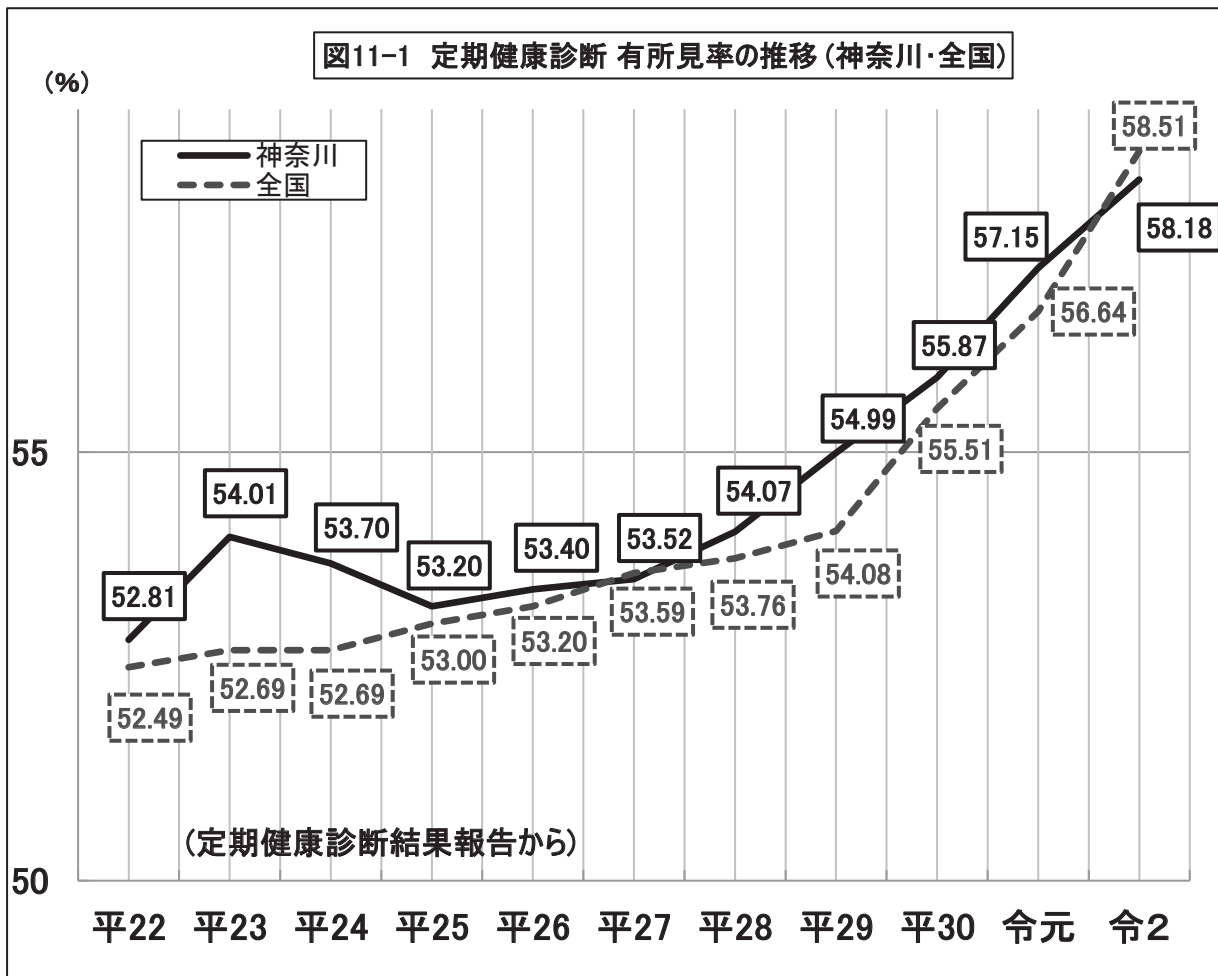
## (1) 定期健康診断の実施状況

令和2年の定期健康診断の結果、何らかの所見のあった者の割合(有所見率)は58.2%で、令和元年から1.0ポイント増加しました。(表11-1、図11-1・11-2)

特殊健康診断では、電離放射線、特定化学物質で有所見率が前年を上回りましたが、有機溶剤、鉛業務の有所見率は前年を下回りました。(表11-2、図11-3)

(統計数値は全て、神奈川県労働局 定期健康診断結果報告・特殊健康診断結果報告 から)

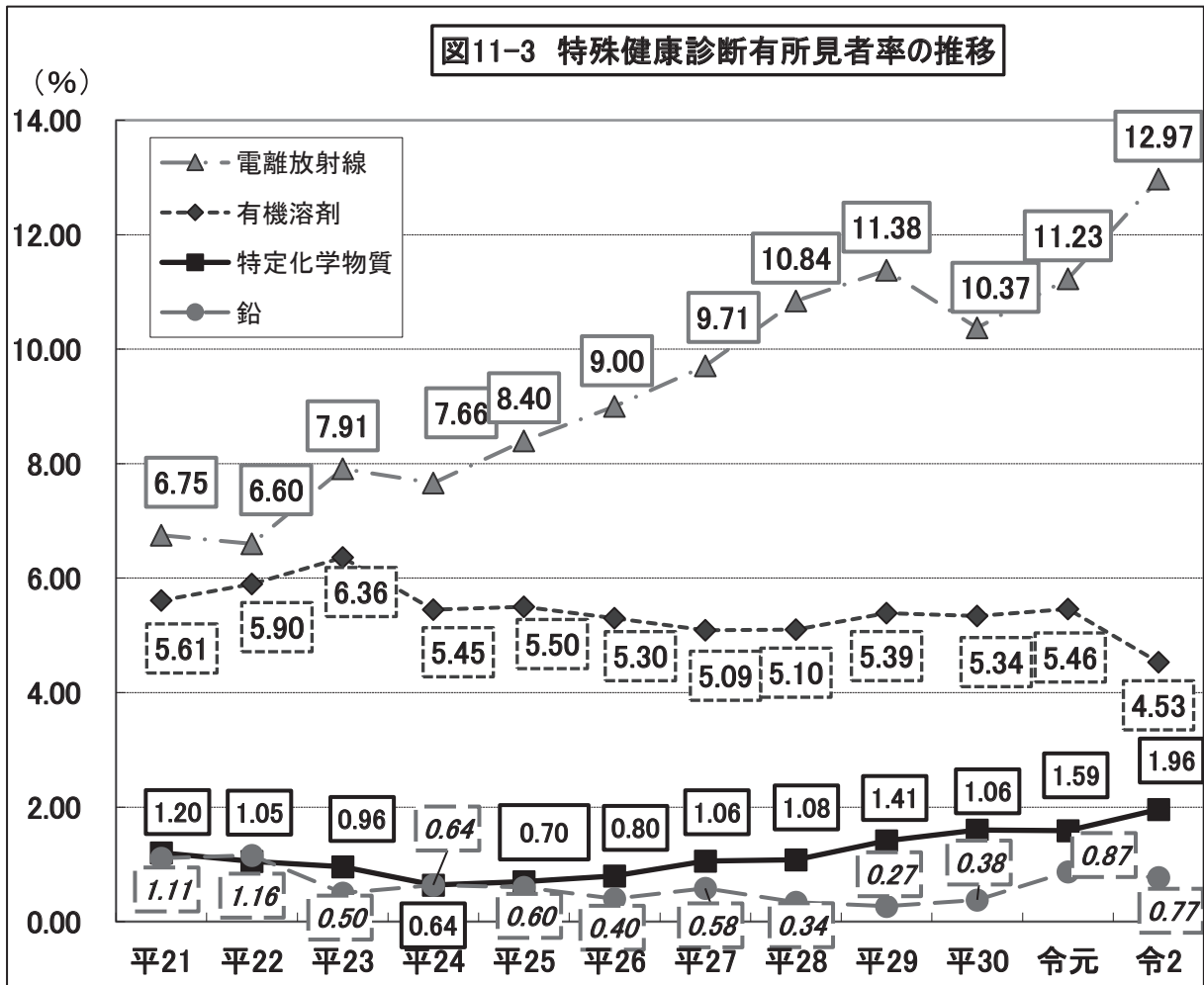
| 区分         | 業種別<br>検査者数 | 有所見者<br>数 | 有所見率<br>(%) | 医師の<br>指示<br>人数 | 医師の<br>指示<br>率 | 聴力           |              | 胸部X線 | 喀痰      | 血圧   | 貧血      | 肝機能 | 血中脂質     |            | 血糖     | 尿糖   | 尿(蛋白)   | 心臓       |            | 歯科検診 |          |            |          |            |         |      |         |     |         |     |         |      |        |      |  |
|------------|-------------|-----------|-------------|-----------------|----------------|--------------|--------------|------|---------|------|---------|-----|----------|------------|--------|------|---------|----------|------------|------|----------|------------|----------|------------|---------|------|---------|-----|---------|-----|---------|------|--------|------|--|
|            |             |           |             |                 |                | 1000Hz<br>聴力 | 4000Hz<br>聴力 |      |         |      |         |     | 所見<br>人数 | 所見<br>率(%) |        |      |         | 所見<br>人数 | 所見<br>率(%) |      | 所見<br>人数 | 所見<br>率(%) | 所見<br>人数 | 所見<br>率(%) |         |      |         |     |         |     |         |      |        |      |  |
| 業種別        | 213         | 32,469    | 18,643      | 51.4            | 9,386          | 28.9         | 28,553       | 5.4  | 28,828  | 7.1  | 4,324   | 0.4 | 28,809   | 5.1        | 682    | 0.0  | 32,469  | 19.4     | 28,271     | 8.1  | 29,223   | 15.4       | 28,825   | 3.2        | 28,635  | 11.4 | 32,297  | 3.0 | 33,203  | 4.0 | 27,392  | 9.8  | 645    | 0.0  |  |
| 食品製造業      | 172         | 25,280    | 13,756      | 54.4            | 6,837          | 27.0         | 22,316       | 3.1  | 22,815  | 5.5  | 3,766   | 0.2 | 22,791   | 3.6        | 286    | 0.0  | 25,280  | 18.2     | 23,659     | 5.0  | 23,545   | 17.9       | 23,160   | 3.2        | 23,223  | 10.9 | 25,111  | 2.9 | 25,210  | 2.2 | 21,438  | 7.9  | 1,590  | 2.3  |  |
| 化学工業       | 98          | 7,915     | 4,704       | 60.2            | 2,223          | 28.4         | 7,524        | 4.9  | 7,524   | 10.5 | 468     | 0.7 | 7,337    | 4.3        | 4      | 0.0  | 7,915   | 21.8     | 6,950      | 5.0  | 7,228    | 19.9       | 7,206    | 3.8        | 7,253   | 13.3 | 7,636   | 3.1 | 7,726   | 3.4 | 6,875   | 8.7  | 532    | 28.1 |  |
| 金属製品製造業    | 165         | 25,118    | 14,523      | 57.8            | 7,778          | 30.8         | 22,760       | 3.3  | 22,760  | 7.4  | 3,338   | 0.2 | 23,649   | 5.3        | 228    | 0.0  | 25,118  | 17.7     | 23,018     | 3.8  | 23,118   | 21.0       | 23,271   | 32.9       | 23,285  | 10.7 | 25,109  | 2.8 | 25,012  | 3.1 | 22,229  | 8.7  | 265    | 0.0  |  |
| 一般機械器具製造業  | 201         | 33,903    | 20,967      | 61.8            | 12,193         | 36.0         | 31,020       | 6.0  | 31,020  | 6.0  | 3,946   | 1.3 | 31,598   | 5.8        | 799    | 10.1 | 33,903  | 17.3     | 31,781     | 5.8  | 31,967   | 22.7       | 31,946   | 36.0       | 31,964  | 11.5 | 33,756  | 3.6 | 33,642  | 2.6 | 30,245  | 10.4 | 666    | 8.4  |  |
| 電気機械器具製造業  | 157         | 33,424    | 20,272      | 60.7            | 10,045         | 30.1         | 29,969       | 4.2  | 29,969  | 11.2 | 4,441   | 0.4 | 29,750   | 6.4        | 178    | 1.7  | 33,424  | 17.5     | 27,590     | 4.6  | 28,347   | 22.9       | 28,423   | 35.8       | 28,450  | 13.4 | 33,268  | 3.2 | 33,166  | 7.0 | 26,722  | 11.5 | 337    | 0.0  |  |
| 輸送用機械器具製造業 | 325         | 35,431    | 20,524      | 57.9            | 10,435         | 29.5         | 32,189       | 4.1  | 32,026  | 8.6  | 4,616   | 0.7 | 31,601   | 4.7        | 296    | 10.1 | 35,431  | 20.4     | 31,650     | 5.5  | 32,357   | 19.2       | 32,236   | 32.8       | 32,364  | 11.1 | 35,258  | 3.3 | 35,094  | 3.3 | 28,469  | 10.9 | 1,082  | 1.1  |  |
| 上記以外の製造業   | 1,331       | 193,440   | 113,389     | 58.6            | 58,897         | 30.4         | 174,442      | 3.9  | 174,442 | 7.9  | 24,898  | 0.5 | 175,535  | 5.2        | 2,433  | 4.5  | 193,440 | 18.6     | 172,906    | 5.5  | 175,765  | 19.9       | 174,867  | 33.7       | 175,174 | 11.6 | 192,435 | 3.2 | 192,145 | 3.8 | 163,370 | 10.0 | 4,927  | 4.1  |  |
| 製造業小計      | 31          | 1,848     | 1,257       | 68.0            | 847            | 45.8         | 1,805        | 2.2  | 1,805   | 20.2 | 351     | 0.0 | 1,756    | 9.9        | 85     | 0.0  | 1,848   | 27.1     | 1,766      | 7.0  | 1,811    | 21.0       | 1,816    | 35.6       | 1,816   | 15.0 | 1,848   | 6.7 | 1,848   | 6.2 | 1,765   | 11.2 | 45     | 0.0  |  |
| 土木工事業      | 65          | 6,344     | 3,847       | 60.6            | 2,094          | 33.0         | 6,183        | 3.1  | 6,183   | 7.4  | 281     | 1.8 | 6,346    | 4.5        | 95     | 0.0  | 6,338   | 16.7     | 6,280      | 5.6  | 6,357    | 18.7       | 6,357    | 34.7       | 6,381   | 11.8 | 6,400   | 3.7 | 6,340   | 4.0 | 6,228   | 10.5 | 1      | 0.0  |  |
| 建設工事業      | 59          | 8,283     | 5,645       | 68.2            | 2,883          | 34.8         | 7,805        | 3.2  | 7,805   | 6.8  | 412     | 0.5 | 8,017    | 5.8        | 159    | 16.4 | 8,283   | 17.8     | 8,015      | 10.3 | 8,251    | 23.1       | 8,240    | 40.8       | 8,252   | 12.0 | 8,235   | 4.0 | 8,277   | 4.0 | 7,121   | 10.7 | 11     | 9.1  |  |
| その他の建設業    | 155         | 16,475    | 10,749      | 65.2            | 5,824          | 35.4         | 15,797       | 3.7  | 15,864  | 8.6  | 728     | 1.0 | 16,119   | 5.7        | 339    | 7.7  | 16,469  | 18.4     | 16,061     | 8.1  | 16,419   | 21.2       | 16,413   | 37.9       | 16,449  | 12.2 | 16,463  | 4.2 | 16,465  | 4.2 | 15,114  | 10.7 | 57     | 1.8  |  |
| 建設業小計      | 684         | 53,416    | 34,438      | 64.5            | 17,273         | 32.3         | 49,808       | 5.1  | 49,825  | 12.5 | 5,461   | 1.0 | 48,709   | 5.8        | 24     | 12.5 | 53,412  | 23.3     | 46,322     | 7.0  | 47,293   | 19.5       | 47,165   | 36.7       | 47,017  | 14.0 | 53,193  | 5.2 | 53,238  | 6.1 | 47,582  | 11.2 | 0      | 0.0  |  |
| 運輸交通業      | 1,151       | 82,261    | 47,109      | 57.3            | 26,058         | 31.7         | 73,099       | 4.8  | 73,204  | 5.3  | 9,468   | 0.9 | 78,857   | 3.5        | 503    | 3.2  | 82,251  | 18.3     | 76,626     | 7.0  | 77,895   | 13.4       | 76,765   | 32.3       | 76,683  | 11.2 | 81,789  | 3.0 | 81,635  | 3.4 | 73,238  | 8.3  | 192    | 58.6 |  |
| 商業         | 3,087       | 357,377   | 203,291     | 56.9            | 101,408        | 28.4         | 310,149      | 3.7  | 309,558 | 5.7  | 42,899  | 0.5 | 320,760  | 5.4        | 2,128  | 2.1  | 357,280 | 15.2     | 330,996    | 6.8  | 333,303  | 16.4       | 331,298  | 32.7       | 330,618 | 10.2 | 355,398 | 2.8 | 355,673 | 4.1 | 294,355 | 11.1 | 3,901  | 17.1 |  |
| 上記以外の事業    | 6,408       | 702,989   | 408,976     | 58.2            | 204,480        | 29.8         | 623,677      | 4.0  | 622,313 | 6.9  | 83,715  | 0.6 | 648,980  | 5.2        | 5,427  | 3.7  | 702,851 | 17.2     | 642,917    | 6.5  | 650,735  | 17.3       | 646,508  | 33.4       | 645,921 | 11.0 | 699,284 | 3.2 | 699,156 | 4.1 | 539,639 | 10.4 | 9,037  | 10.6 |  |
| 合計         | 7,326       | 843,308   | 481,909     | 57.1            | 242,970        | 28.8         | 740,278      | 3.8  | 740,278 | 7.0  | 114,800 | 0.5 | 731,080  | 5.3        | 10,013 | 2.1  | 842,858 | 16.2     | 763,986    | 6.8  | 770,028  | 16.0       | 766,279  | 32.9       | 763,511 | 11.2 | 837,343 | 2.9 | 832,289 | 4.3 | 702,621 | 9.8  | 12,279 | 17.0 |  |
| 令和元年       |             |           |             |                 |                |              |              |      |         |      |         |     |          |            |        |      |         |          |            |      |          |            |          |            |         |      |         |     |         |     |         |      |        |      |  |



## (2) 特殊健康診断の実施状況

表11-2 年次別特殊健康診断実施状況 (単位:人、%)

| 年次               |           | 平成27年   |         | 平成28年   |         | 平成29年   |         | 平成30年   |         | 令和元年    |         | 令和2年    |        |      |
|------------------|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|------|
| 実施事業場数           |           | 4,922   |         | 5,206   |         | 5,728   |         | 5,270   |         | 5,462   |         | 5,050   |        |      |
| 種類               | 業務別       | 受診労働者数  | 有所見率    | 受診労働者数  | 有所見率    | 受診労働者数  | 有所見率    | 受診労働者数  | 有所見率    | 受診労働者数  | 有所見率    | 受診労働者数  | 有所見率   |      |
| 規則によるもの          | 有機溶剤      | 44,630  | 5.1     | 44,056  | 5.1     | 44,345  | 5.4     | 44,205  | 5.3     | 46,670  | 5.5     | 45,537  | 4.5    |      |
|                  | 鉛         | 4,112   | 0.6     | 3,564   | 0.3     | 4,058   | 0.3     | 4,263   | 0.4     | 4,489   | 0.9     | 4,539   | 0.8    |      |
|                  | 四アルキル鉛    | 0       | 0.0     | 0       | 0.0     | 0       | 0.0     | 0       | 0.0     | 0       | 0.0     | 0       | 0.0    |      |
|                  | 電離放射線     | 20,366  | 9.7     | 19,852  | 10.8    | 19,182  | 11.4    | 19,187  | 10.4    | 20,578  | 11.2    | 18,283  | 13.0   |      |
|                  | 特定化学物質    | 44,408  | 1.1     | 50,167  | 1.1     | 53,199  | 1.4     | 55,807  | 1.6     | 60,575  | 1.6     | 57,043  | 2.0    |      |
|                  | 高気圧       | 199     | 2.5     | 183     | 7.1     | 173     | 7.5     | 272     | 0.4     | 243     | 1.6     | 216     | 0.0    |      |
|                  | 石綿        | 3,030   | 2.1     | 1,830   | 3.1     | 2,931   | 1.9     | 3,336   | 2.1     | 2,984   | 1.2     | 2,707   | 0.7    |      |
|                  | 小計        | 116,745 | 4.1     | 117,822 | 4.3     | 120,957 | 4.1     | 123,734 | 4.3     | 132,555 | 4.5     | 128,325 | 4.4    |      |
|                  | 指導勧奨によるもの | 紫外線・赤外線 | 5,885   | 2.0     | 5,697   | 1.9     | 6,030   | 1.8     | 6,138   | 2.4     | 6,136   | 2.1     | 5,727  | 1.7  |
|                  |           | 騒音      | 22,573  | 10.4    | 19,168  | 14.0    | 22,165  | 12.1    | 22,165  | 11.4    | 23,738  | 13.1    | 21,992 | 13.5 |
| マンガン等            |           | 142     | 0.0     | 147     | 0.0     | 199     | 0.0     | 184     | 9.2     | 137     | 0.0     | 136     | 0.7    |      |
| 有機りん剤            |           | 92      | 0.0     | 54      | 0.0     | 98      | 0.0     | 95      | 0.0     | 111     | 0.0     | 85      | 0.0    |      |
| 亜硫酸ガス            |           | 38      | 0.0     | 47      | 12.8    | 33      | 18.2    | 29      | 0.0     | 40      | 0.0     | 47      | 0.0    |      |
| 脂肪族の塩化または臭化合物    |           | 91      | 0.0     | 62      | 0.0     | 163     | 0.0     | 46      | 21.7    | 37      | 0.0     | 48      | 0.0    |      |
| 砒素(三酸化砒素を除く)     |           | 158     | 0.0     | 191     | 3.1     | 166     | 3.6     | 134     | 1.5     | 158     | 0.6     | 179     | 6.2    |      |
| メチレンジフェニルイソシアネート |           | 180     | 0.0     | 229     | 0.0     | 231     | 0.0     | 253     | 3.2     | 262     | 0.4     | 163     | 0.0    |      |
| 振動工具(チェンソー以外)    |           | 4,141   | 9.3     | 4,192   | 9.9     | 4,604   | 9.0     | 4,593   | 8.7     | 4,925   | 6.9     | 4,922   | 13.6   |      |
| 重量物              |           | 660     | 7.7     | 891     | 12.0    | 669     | 16.0    | 1,022   | 14.0    | 1,163   | 11.7    | 1,307   | 11.7   |      |
| 引金付工具            |           | 2,898   | 4.6     | 2,897   | 4.8     | 3,594   | 3.8     | 3,900   | 6.5     | 3,606   | 6.5     | 3,586   | 10.2   |      |
| VDT作業            |           | 35,150  | 3.0     | 36,242  | 3.6     | 32,522  | 4.0     | 34,176  | 3.7     | 34,176  | 4.6     | 21,291  | 6.6    |      |
| レーザー機器           |           | 2,069   | 4.2     | 1,947   | 4.2     | 1,941   | 4.2     | 2,272   | 3.0     | 2,117   | 3.5     | 2,376   | 3.9    |      |
| その他              | 121       | 11.6    | 166     | 9.6     | 130     | 12.3    | 859     | 2.7     | 703     | 7.4     | 261     | 11.9    |        |      |
| 小計               | 74,198    | 4.2     | 71,930  | 6.8     | 72,545  | 6.7     | 75,866  | 6.5     | 77,309  | 7.3     | 62,120  | 9.3     |        |      |
| 合計               | 187,913   | 4.8     | 189,752 | 5.2     | 193,502 | 5.1     | 199,600 | 5.1     | 209,864 | 5.5     | 190,445 | 6.0     |        |      |





### (3) じん肺健康管理実施状況

令和2年のじん肺健康診断の有所見者数は4人と前年より減少しました。有所見率(0.04%)は全国平均(0.41%)を下回っています。(表 11-3)

(じん肺健康管理実施状況報告から)

表11-3 じん肺健康管理実施状況

| 年  | じん肺健診<br>受診労働者数 | 有所見者数 |     |     |     | 有所見率(%) |      |
|----|-----------------|-------|-----|-----|-----|---------|------|
|    |                 | 管理2   | 管理3 | 管理4 | 計   | 神奈川県    | 全国   |
| 17 | 11,204          | 113   | 33  | 0   | 146 | 1.3     | 3.1  |
| 18 | 12,800          | 109   | 43  | 0   | 152 | 1.2     | 2.7  |
| 19 | 11,419          | 84    | 31  | 0   | 115 | 1.0     | 2.3  |
| 20 | 11,498          | 102   | 10  | 14  | 126 | 1.1     | 2.2  |
| 21 | 11,785          | 65    | 4   | 1   | 70  | 0.6     | 2.0  |
| 22 | 12,514          | 62    | 20  | 0   | 82  | 0.7     | 1.6  |
| 23 | 11,023          | 51    | 14  | 0   | 65  | 0.6     | 1.4  |
| 24 | 11,769          | 37    | 7   | 0   | 44  | 0.4     | 1.3  |
| 25 | 10,703          | 27    | 4   | 0   | 31  | 0.3     | 1.0  |
| 26 | 11,036          | 22    | 2   | 1   | 25  | 0.2     | 0.9  |
| 27 | 13,599          | 25    | 6   | 3   | 34  | 0.3     | 1.0  |
| 28 | 11,613          | 10    | 0   | 1   | 11  | 0.09    | 0.66 |
| 29 | 10,502          | 13    | 0   | 0   | 13  | 0.12    | 0.64 |
| 30 | 15,733          | 13    | 1   | 1   | 15  | 0.10    | 0.74 |
| 元  | 12,571          | 8     | 1   | 1   | 10  | 0.07    | 0.78 |
| 2  | 9,832           | 4     | 0   | 0   | 4   | 0.04    | 0.41 |

※ 本統計には随時申請によるものは含まない。

### (4) ストレスチェック制度の実施状況

令和2年に実施されたストレスチェック制度に関し、提出のあった事業場において検査を実施したのは対象労働者のうち77.77%、医師による面接指導を受けたのは全体の0.44%という状況になっています。(図 11-4、表 11-4)

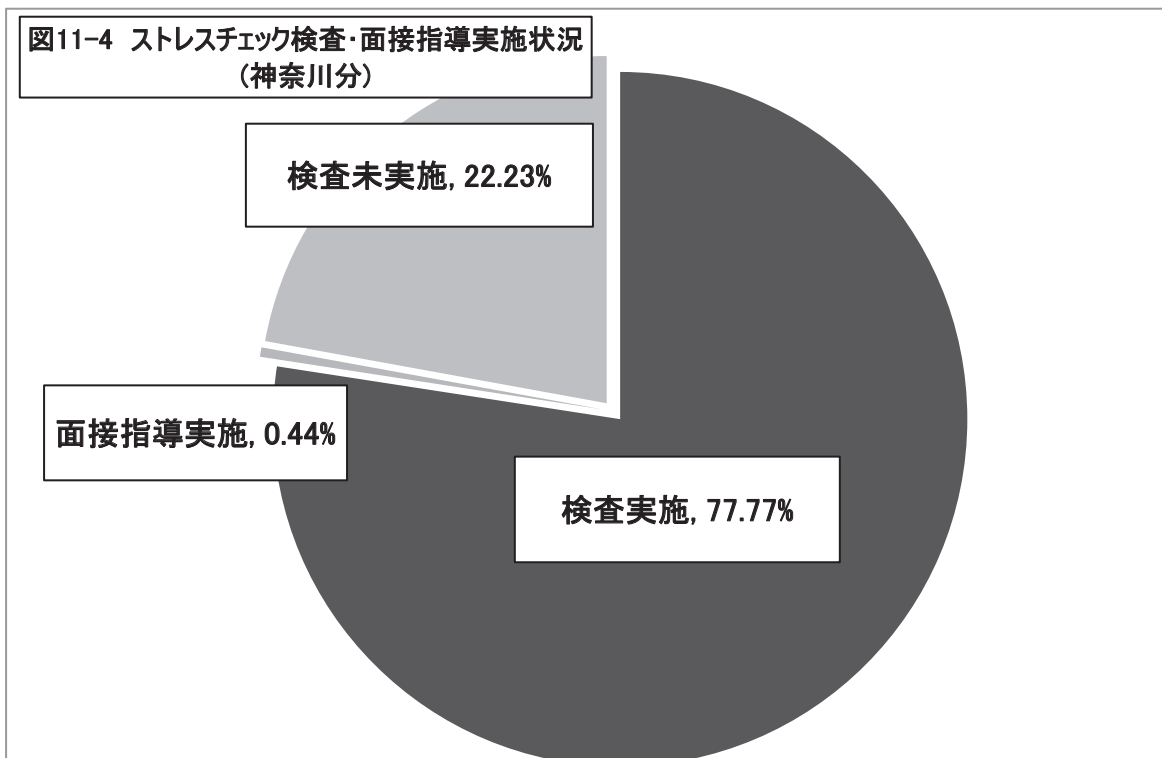
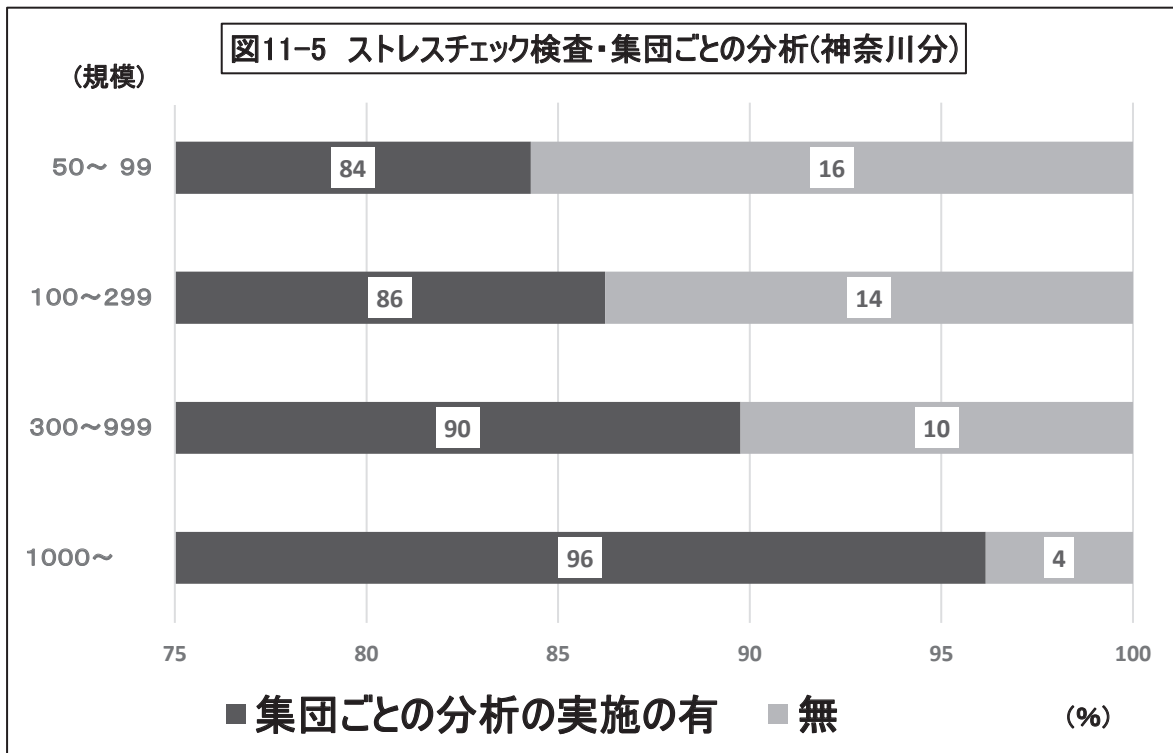


表11-4 令和2年「心理的な負担の程度を把握するための検査」実施状況（規模別）

| 規模      | 検査実施事業場数 | 在籍労働者数    | 検査を受けた労働者数 |        |         |         | 検査実施率 | 面接指導を受けた労働者数 |       |        |       | 面接指導実施率 | 集団ごとの分析の実施の有無 |          |
|---------|----------|-----------|------------|--------|---------|---------|-------|--------------|-------|--------|-------|---------|---------------|----------|
|         |          |           | 検査を実施した者   |        |         | 合計      |       | 面接指導を実施した医師  |       |        | 合計    |         | 分析あり事業場数      | 分析なし事業場数 |
|         |          |           | 専任産業医      | 専属医師等  | 非専属医師等  |         |       | 専任産業医        | 専属医師等 | 非専属医師等 |       |         |               |          |
| 50～99   | 3,418    | 242,487   | 93,913     | 10,994 | 71,230  | 176,137 | 72.64 | 845          | 16    | 90     | 951   | 0.54    | 2,881         | 537      |
| 100～299 | 2,483    | 387,015   | 161,080    | 20,840 | 112,403 | 294,323 | 76.05 | 1,224        | 42    | 104    | 1,370 | 0.47    | 2,141         | 342      |
| 300～999 | 615      | 282,140   | 150,469    | 18,209 | 60,063  | 228,741 | 81.07 | 796          | 46    | 75     | 917   | 0.40    | 552           | 63       |
| 1,000～  | 104      | 165,675   | 97,070     | 10,161 | 31,419  | 138,650 | 83.69 | 327          | 81    | 20     | 428   | 0.31    | 100           | 4        |
| 合計      | 6,620    | 1,077,317 | 502,532    | 60,204 | 275,115 | 837,851 | 77.77 | 3,192        | 185   | 289    | 3,666 | 0.44    | 5,674         | 946      |

| 規模      | 検査実施事業場数 | 在籍労働者数     | 検査を受けた労働者数 |           |           |            | 検査実施率 | 面接指導を受けた労働者数 |       |        |        | 面接指導実施率 | 集団ごとの分析の実施の有無 |          |
|---------|----------|------------|------------|-----------|-----------|------------|-------|--------------|-------|--------|--------|---------|---------------|----------|
|         |          |            | 検査を実施した者   |           |           | 合計         |       | 面接指導を実施した医師  |       |        | 合計     |         | 分析あり事業場数      | 分析なし事業場数 |
|         |          |            | 専任産業医      | 専属医師等     | 非専属医師等    |            |       | 専任産業医        | 専属医師等 | 非専属医師等 |        |         |               |          |
| 50～99   | 60,992   | 4,434,658  | 1,690,773  | 250,997   | 1,491,993 | 3,433,763  | 77.43 | 13,839       | 870   | 2,265  | 16,974 | 0.49    | 50,945        | 10,047   |
| 100～299 | 42,928   | 6,786,379  | 2,746,684  | 444,400   | 2,159,446 | 5,350,530  | 78.84 | 19,162       | 819   | 3,150  | 23,131 | 0.43    | 36,991        | 5,937    |
| 300～999 | 9,944    | 4,645,389  | 2,238,030  | 428,673   | 1,101,529 | 3,768,232  | 81.12 | 12,024       | 777   | 1,484  | 14,285 | 0.38    | 9,037         | 907      |
| 1,000～  | 1,331    | 2,486,483  | 1,554,846  | 194,756   | 306,154   | 2,055,756  | 82.68 | 6,895        | 570   | 436    | 7,901  | 0.38    | 1,265         | 66       |
| 合計      | 115,195  | 18,352,909 | 8,230,333  | 1,318,826 | 5,059,122 | 14,608,281 | 79.60 | 51,920       | 3,036 | 7,335  | 62,291 | 0.43    | 98,238        | 16,957   |

(図 11-4、表 11-4 とも、「心理的な負担の程度を把握するための検査等報告書」から)



# 12 『神奈川県労働局 第13次労働災害防止推進計画』の概要

神奈川県労働局 令和3年4月作成

## 計画期間

\*平成30年度～令和4年度（5か年計画）

## 計画の全体目標

\*令和4年までに、神奈川県内の労働災害による死亡者数を15%以上減少（平成29年比）

\*令和4年までに、神奈川県内の労働災害による死傷者数を5%以上減少（同上）

【平成29年（比較基準年）：死亡者数30人、死傷者数6551人】

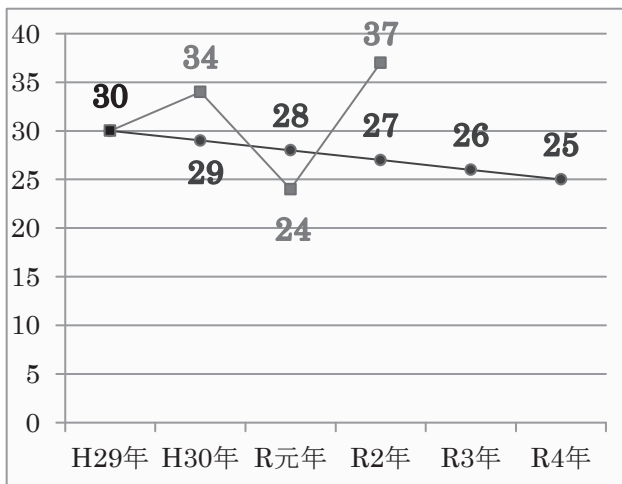
【令和4年（最終目標）：死亡者数25人以下、死傷者数6223人以下】

## 7つの重点事項

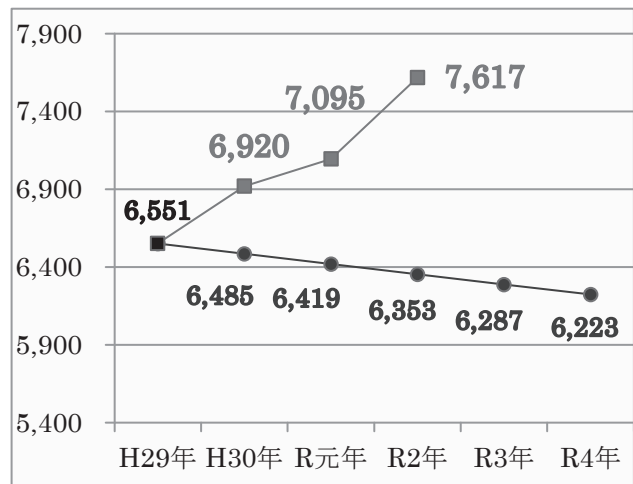
- (1) 死亡災害の撲滅を目指した対策の推進
- (2) 過労死等の防止等の労働者の健康確保対策の推進
- (3) 就業構造の変化及び働き方の多様化に対応した対策の推進
- (4) 疾病を抱える労働者の健康確保対策の推進
- (5) 化学物質等による健康障害防止対策の推進
- (6) 企業・業界単位での安全衛生の取組の強化
- (7) 安全衛生管理組織の強化及び人材育成の推進

## 令和4年目標への各年の具体的数値目標

《死亡者数》



《死傷者数》



(点線のグラフは平成30年計画策定時の最終目標までの指標数値)

## 重点事項ごとの具体的取組

### 1 死亡災害の撲滅を目指した対策の推進

#### (1) 建設業における墜落・転落災害等の防止

\* 墜落・転落災害防止対策の徹底 \* 解体工事における安全対策の徹底 \* 令和2年東京オリンピック・パラリンピック関連工事及びインフラ整備工事の増大に伴う対策の徹底 \* 自然災害時、災害復旧時の工事における安全対策の徹底 \* 伐木等の作業における安全管理の徹底 \* 安全教育の徹底 \* 「危険の見える化」措置の活用促進 \* 建設業労働災害防止協会神奈川支部・各分会との連携の強化 \* 熱中症予防対策の徹底

#### (2) 製造業における施設、設備、機械等に起因する災害の防止

\* 「機械の包括的な安全基準に関する指針」によるリスクアセスメントの実施の促進 \* 「はさまれ・巻き込まれ」災害の防止を重点とした、機械設備の本質安全化等災害防止対策の徹底 \* 「危険の見える化」措置の活用促進 \* (公社)神奈川労務安全衛生協会本部・各支部や神奈川工業会等の関係団体との連携強化

#### (3) 熱中症対策

\* 早期警戒及び適切な作業計画による予防対策の徹底 \* 健康管理等の徹底及び早めの対処等による重症化の防止 \* JIS規格に適合した WBGT 値測定器の普及促進及び WBGT 値の測定とその結果に基づく必要な措置の推進 \* 建設業等における先進的な取組の紹介や労働者等向けの教育ツールの普及促進

### 2 過労死等の防止等の労働者の健康確保対策の推進

#### (1) 労働者の健康確保対策の強化

\* 企業における健康確保措置の推進 \* 産業医・産業保健機能の強化

#### (2) 過重労働による健康障害防止対策の推進

\* 長時間労働者に対する医師による面接指導の対象者の見直しや労働時間の客観的な把握等、労働者の健康管理対策を強化

#### (3) 職場におけるメンタルヘルス対策等の推進

\* 各事業場における総合的なメンタルヘルス対策の推進 \* 神奈川産業保健総合支援センターによる支援 \* 労働者の心の健康の保持増進のための指針に基づく取組の推進 \* 各事業場におけるパワーハラスメント対策の推進 \* 令和2年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を活用した健康促進

### 3 就業構造の変化及び働き方の多様化に対応した対策の推進

#### (1) 災害の件数が増加傾向にある又は減少がみられない業種等への対応

##### (ア) 第三次産業対策（社会福祉施設、小売業・飲食店）

\* 多店舗展開企業等に対する取組 \* 「働く人に安全で安心な店舗・施設づくり推進運動」の実施 \* 多店舗展開企業等の本社等に対する指導の実施 \* 多店舗展開企業等以外の重点業種の事業場に対する指導の実施 \* 業界単位での労働災害防止対策の推進 \* 中央労働災害防止協会との連携 \* 安全衛生教育の推進 \* 転倒災害、腰痛災害防止の推進 \* 危険の見える化の推進

##### (イ) 陸上貨物運送事業対策

\* ①墜落・転落、②荷崩れ、③フォークリフト使用時の事故、④無人暴走、⑤トラック後退時の事故（以下「荷役 5 大災害」という。）の防止対策の推進 \* 陸運事業場への支援 \* 「荷役作業における安全ガイドライン」、「交通労働災害防止のためのガイドライン」及び「職場における腰痛予防対策指針」に基づく荷役作業の労働災害防止対策の普及促進 \* 陸運事業者及び荷主等による連絡協議会の推進 \* 陸上貨物運送事業労働災害防止協会神奈川支部との連携

##### (ウ) 転倒災害の防止

\* 「STOP！転倒災害プロジェクト神奈川」の効果的な展開 \* 「ころばNICEかながわ体操」の周知及び活用促進

##### (エ) 腰痛災害の予防

\* 安全衛生教育の確実な実施 \* ストレッチを中心とした腰痛予防体操の推進 \* 介護等の施設管理者と現場職員を対象としたセミナーへの参加勧奨 \* 介護労働者の身体的負担軽減を図る介護機器の導入促進 \* 荷物の積み卸し等の典型的な重筋業務に対する機械等の普及促進 \* 陸上貨物運送事業労働災害防止協会神奈川支部との連携

##### (オ) 交通労働災害対策

\* 春・秋の交通安全運動等の時期に合わせた教育の推進 \* 「交通労働災害防止のためのガイドライン」の周知徹底

##### (カ) クレーン、移動式クレーンの玉掛け作業に起因する労働災害の防止

\*規則改正された3t未満の移動式クレーンに係る過負荷防止装置構造規格についての周知徹底 \*「玉掛け作業の安全に係るガイドライン」に定める事項の周知徹底

#### (キ) 職場における「危険の見える化」の推進

\*「危険の見える化」に配慮した労働災害防止に関する標識、掲示等の普及促進 \*「危険の見える化」について神奈川県ホームページを活用した情報提供

#### (2) 高齢労働者、非正規雇用労働者、外国人労働者及び障害者である労働者の労働災害の防止

\*高齢労働者に配慮した職場環境の改善 \*転倒災害や腰痛予防のための取組強化 \*(改正予定)「高齢労働者に配慮した職場改善マニュアル」及び企業の取組事例について、神奈川県労働局ホームページ等を活用した周知活動の推進 \*「危険の見える化」措置の活用促進

### 4 疾病を抱える労働者の健康確保対策の推進

#### (1) 企業における健康確保対策の推進、企業と医療機関の連携の促進

\*法定の健康診断やその結果を踏まえた就業上の措置のみならず、労働者の健康管理に関して、経営トップの取組方針の設定・表明等、企業の積極的な取組を促進 \*労働者自ら健康の保持増進に努めるよう啓発

#### (2) 疾病を抱える労働者を支援する仕組みづくり

\*労働者の治療と職業生活の両立支援に取り組む企業に対する支援等を推進 \*神奈川県産業保健総合支援センター等に配置される「両立支援コーディネーター」の活用を促進

### 5 化学物質等による健康障害防止対策の推進

#### (1) 化学物質による健康障害防止対策

\*「化学物質等による危険性又は有害性の調査に関する指針」を踏まえたリスクアセスメントの実施の促進 \*がん原性指針上の対象物質の有害性に関するラベル表示及びSDS交付等、化学物質譲渡・提供者に係る基礎資料の整備を促進

#### (2) 石綿による健康障害防止対策

\*建築物解体工事について、石綿使用の把握漏れ防止の徹底や石綿による健康障害防止対策について周知徹底 \*労働安全衛生法に基づく届出等や石綿ばく露防止対策等を徹底

#### (3) 受動喫煙防止対策

\*受動喫煙防止対策の必要性及び支援制度の周知・啓発

#### (4) 粉じん障害防止対策

\*「第9次粉じん障害防止総合対策」に基づく粉じん障害防止対策の徹底

### 6 企業・業界単位での安全衛生の取組の強化

#### (1) 安全衛生専門人材の育成、専門人材の活用

\*安全衛生専門人材の育成及び事業場外の専門人材の活用

#### (2) 企業のマネジメントへの安全衛生の取組

\*安全衛生優良企業公表制度及び健康経営について周知

#### (3) 労働安全衛生マネジメントシステムの普及と活用

\*国際規格ISO45001の発効に合わせた、労働安全衛生マネジメントシステムの普及促進 \*改訂を予定している労働安全衛生マネジメントシステムの指針の普及促進

#### (4) 関係行政機関及び働き方の多様化に対応した対策の推進

\*関係行政機関との連携・協働 \*国、神奈川県、各市町村との連携・協働 \*専門家との連携・協働 \*労働災害防止団体との連携・協働 \*業界団体との連携・協働 \*産業保健機関等との連携・協働

### 7 安全衛生教育及び人材育成の推進

\*「安全衛生教育推進要綱」に基づく教育及び研修の推進 \*労働者の生涯を通じた安全衛生教育等の実施管理体制の確立 \*「外国人労働者の雇用管理の改善等に関して事業主が適切に対処するための指針」に示す安全衛生教育について周知・指導 \*派遣労働者に対する教育の徹底 \*事業者団体及び安全衛生団体に対する指導・援助

## 重点対策の目標設定

※平成30年から令和4年の上段は目標値、下段は実績を示す

|              | 業種        | 種別       | 平成29年                                                                                                                   | 減少目標  | 平成30年          | 令和元年           | 令和2年           | 令和3年       | 令和4年  |     |
|--------------|-----------|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|----------------|----------------|----------------|------------|-------|-----|
|              |           |          |                                                                                                                         |       |                |                |                |            |       |     |
| 災害減少         | 全業種       | 死亡者数     | 30                                                                                                                      | 15%減少 | 29<br>34       | 28<br>24       | 27<br>37       | 26         | 25    |     |
|              |           | 死傷者数     | 6,551                                                                                                                   | 5%減少  | 6,485<br>6,920 | 6,419<br>7,095 | 6,353<br>7,617 | 6,287      | 6,223 |     |
|              | 小売業       | 死傷者数     | 839                                                                                                                     | 5%減少  | 830<br>937     | 821<br>917     | 813<br>992     | 805        | 797   |     |
|              | 社会福祉施設 ※  | 死傷者数     | 621                                                                                                                     | 5%減少  | 623<br>634     | 625<br>723     | 627<br>1,005   | 629        | 630   |     |
|              | 飲食店       | 死傷者数     | 364                                                                                                                     | 5%減少  | 360<br>378     | 356<br>399     | 352<br>379     | 348        | 345   |     |
|              | 陸上貨物運送事業  | 死傷者数     | 925                                                                                                                     | 5%減少  | 915<br>982     | 905<br>981     | 896<br>1,044   | 887        | 878   |     |
|              | 建設業       | 死亡者数     | 6                                                                                                                       | 15%減少 | 5<br>10        | 5<br>10        | 5<br>14        | 5          | 5     |     |
|              |           | 死傷者数     | 730                                                                                                                     | 10%減少 | 715<br>727     | 700<br>808     | 685<br>824     | 671        | 657   |     |
|              | 製造業       | 死亡者数     | 6                                                                                                                       | 15%減少 | 5<br>6         | 5<br>2         | 5<br>5         | 5          | 5     |     |
|              |           | 死傷者数     | 1,022                                                                                                                   | 10%減少 | 1,000<br>1,044 | 979<br>1,061   | 959<br>924     | 939        | 919   |     |
| 健康確保・職業性疾病対策 | メンタルヘルス対策 |          | ① メンタルヘルス対策に取り組んでいる事業場の割合を80%以上(56.6%:平成28全国値)とする。<br>② ストレスチェック結果に基づき集団分析を実施した労働者50人以上の事業場の割合を85%以上(78.7%:平成29神奈川)とする。 |       |                |                |                |            |       |     |
|              | 腰痛予防対策    | 小売業      | 死傷者数                                                                                                                    | 58    | 5%減少           | 57<br>65       | 56<br>59       | 55<br>89   | 54    | 54  |
|              |           | 社会福祉施設 ※ | 死傷者数                                                                                                                    | 131   | 5%減少           | 131<br>108     | 131<br>118     | 131<br>157 | 131   | 132 |
|              |           | 飲食店      | 死傷者数                                                                                                                    | 11    | 5%減少           | 10<br>10       | 10<br>6        | 10<br>10   | 10    | 10  |
|              |           | 陸上貨物運送事業 | 死傷者数                                                                                                                    | 70    | 5%減少           | 69<br>50       | 68<br>61       | 67<br>74   | 66    | 66  |
|              | 熱中症対策     |          | 熱中症による死亡者数を平成25年から平成29年までの5年間と比較して、平成30年から令和4年までの5年間で5%以上減少させる(目標値:5年間で3人以下→令和3年4月末現在6人)                                |       |                |                |                |            |       |     |

注1)「災害減少」の「種別」欄の「死傷者数」は、死亡及び休業4日以上災害の略である。

注2)「災害減少」の「令和4年最終目標」欄の「○○%減少」は、「平成29年の災害発件数に対して令和4年までに、○○%以上減少させる」の略である。

注3)社会福祉施設については、過去の労働者の増加状況から令和4年の労働者数を予測し、これを基に死傷年千人率を算定し、減少目標数を導き出したものである。

| 番号 | 発生月<br>発生時刻 | 業種<br>事業場規模<br>被災者の年齢層                       | 起因物<br>事故の型                   | 発生概要                                                                                                                                                       |
|----|-------------|----------------------------------------------|-------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 2月<br>16時頃  | 土木工事業<br>50人～99人<br>75歳～79歳                  | 基礎工事用機械<br><br>激突され           | 被災者は自社で杭打機の輸送時仕様への組立の補助に従事。運転手が杭打機のリーダー下部を接地固定させていたジャッキを縮めて接地解除操作をしたところ、長さ約2メートルのリーダー下部が、リーダー本体とのヒンジを支点に大きく揺れた。その瞬間に被災者が何らかの理由で揺れる範囲に立ち入ってきて、リーダー下部に激突された。 |
| 2  | 2月<br>15時頃  | 建築工事業<br>～9人<br>20歳未満                        | 乗用車、バス、<br>バイク<br>交通事故(道路)    | 神奈川県外での出張作業から戻る途中の高速道路で、車が側壁に衝突し、助手席から車外に放り出された。                                                                                                           |
| 3  | 3月<br>0時頃   | 土木工事業<br>30人～49人<br>45歳～49歳                  | 建築物、構築物<br><br>墜落、転落          | 鉄道トンネルの坑口構造物の上を通る、幅1.5メートルの通路を歩行中、体勢を崩し、約13メートル下の線路付近に墜落した。                                                                                                |
| 4  | 3月<br>10時頃  | その他<br>(漁業)<br>～9人<br>45歳～49歳                | その他の乗物<br><br>はさまれ、<br>巻き込まれ  | 操業中の漁船(総トン数5トン未満)で揚網機を動かし、引き揚げ過ぎた漁網を戻す操作をした際に、漁網を挟み込んで回転する2個のゴムボールの間に、腕(合羽の袖口からと推測される)から頭部を巻き込まれた。                                                         |
| 5  | 3月<br>15時頃  | その他<br>(その他の事業)<br>～9人<br>40歳～44歳            | その他の<br>動力運搬機<br><br>墜落、転落    | 上りエスカレーターを一人で点検し、自動運転にして足踏みで異音チェック中、自分で踏段2枚を外した開口部(横1メートル、縦80センチメートル、深さ1メートル)が後方から上がってきたのに気付かず落ち込み、降り口まで運ばれて降り口の固定板と後続の踏段との間にはさまれた。                        |
| 6  | 3月<br>9時頃   | 陸上貨物<br>運送事業<br>～9人<br>75歳～79歳               | その他<br><br>起因物なし              | 被災者は荷主構内でトラックに荷積み中、心筋梗塞を発症し10日後に死亡した。その後の調査で、長時間労働による過重な業務に従事していたと認められた。                                                                                   |
| 7  | 4月<br>18時頃  | 清掃・と畜業(その<br>他の清掃・と畜)<br>～9人<br>65歳～69歳      | 化学設備<br><br>墜落、転落             | 塔状の化学装置内部における充填物交換作業に従事中、充填物の山をスコップでならしていたところ、固定されていなかった足元のグレーチングがずれ、グレーチングとともに約5メートル墜落した。                                                                 |
| 8  | 4月<br>16時頃  | 一般機械器具<br>製造業<br>30人～49人<br>50歳～54歳          | 研削盤、バフ盤<br><br>はさまれ、<br>巻き込まれ | ホーニング研削盤を操作して円筒形素材の内径部分を研削中、椅子から立ち上がった際によろけ、回転砥石ヘッドの回転軸(直径2～4センチメートル・長さ58センチメートル)に触れた左肘内側から作業服が巻き込まれ、作業服によって首が絞められた。                                       |
| 9  | 6月<br>9時頃   | 清掃・と畜業(その<br>他の廃棄物処理業)<br>10人～29人<br>50歳～54歳 | トラック<br><br>交通事故(道路)          | 一人でパッカー車によるごみ収集中、収集のため坂道に停車させていた無人のパッカー車が坂道(傾斜3度前後)を約75メートル後退し、その途中で被災者が轢かれた。                                                                              |
| 10 | 6月<br>3時頃   | 陸上貨物<br>運送事業<br>100人～299人<br>55歳～59歳         | トラック<br><br>交通事故(道路)          | 赤信号停車中の車列に10トントラックが突っ込んで合計4台の玉突き事故となり、車列最後尾にいた被災者の3トン車が、突っ込んだトラックと前方の大型トレーラーに挟まれ、運転席が大破した。                                                                 |

|    |            |                                            |                                 |                                                                                                                                                                                            |
|----|------------|--------------------------------------------|---------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 11 | 6月<br>12時頃 | 一般機械器具<br>製造業<br>～9人<br>75歳～79歳            | 玉掛用具<br><br>飛来、落下               | 埠頭にてトレーラシャーシに2トントラック等<br>合計3台を乗せて固縛一体化した荷(重量28<br>t)を揚貨装置で吊って船積み中、玉掛用具の<br>チェーンスリングが切断して荷が約10メー<br>トル落下し、荷役とは別の発注による溶接作業<br>のため船倉内の中甲板にいた2名が下敷きと<br>なった。                                   |
| 12 | 6月<br>12時頃 | その他の<br>小売業<br>30人～49人<br>35歳～39歳          | 乗用車、バス、<br>バイク<br><br>交通事故(道路)  | 本社から営業所に向かって高速道路を営業<br>車(ライトバン)で走行中、追い越し車線で蛇<br>行し中央分離帯に接触し裏返ったところに、<br>後続車両が衝突した。                                                                                                         |
| 13 | 7月<br>0時頃  | 土木工事業<br>10人～29人<br>20歳～24歳                | 乗用車、バス、<br>バイク<br><br>交通事故(道路)  | 夜間工事の現場に向かって高速道路を走<br>行中のワゴン車が、ジャンクション前の右カー<br>ブでブレーキをかけたところタイヤが横滑りし<br>て道路左側側壁に車両左後部が衝突し、同<br>乗の作業者のうち2名が死傷した。                                                                            |
| 14 | 7月<br>11時頃 | 土木工事業<br>30人～49人<br>65歳～69歳                | その他の環境等<br><br>墜落、転落            | 橋梁建設工事現場の仮設の構台に設置し<br>ていた二柱式看板(高さ3メートル、看板部分<br>の高さ0.9メートル×幅4メートル)を2名で<br>撤去中、突風(当日の最大瞬間風速11.1<br>メートル/秒)で看板があおられて、1名が看<br>板と一緒に構台の手すり(高さ102センチ<br>メートル)を超え、構台下の橋脚用深礎杭の<br>底まで、約60メートル墜落した。 |
| 15 | 7月<br>1時頃  | その他の<br>建設工事業<br>10人～29人<br>45歳～49歳        | トラック<br><br>交通事故(道路)            | 夜間工事現場の残土を、外注ダンプで運搬<br>中、残土捨て場の受付所の手前の道路上に<br>ダンプを止め、荷台にかけていた飛散防止用<br>シートを外し、道路上でシートを折り畳み丸め<br>ているとき、後方から来た別会社のダンプに<br>轢かれた。                                                               |
| 16 | 8月<br>11時頃 | 建築工事業<br>10人～29人<br>35歳～39歳                | 足場<br><br>墜落、転落                 | 11階建てビル新築現場で、外周の枠組足<br>場を解体作業中、被災者は足場10層目で、<br>解体した足場部材を地上に下ろすため、下の<br>層にいる作業者に渡した際に、誤って地面ま<br>で約17メートル墜落した。フルハーネス型墜<br>落制止用器具を着用していたが、そのフック<br>を使っていなかった。                                 |
| 17 | 8月<br>18時頃 | 清掃・と畜業(産業<br>廃棄物処理業)<br>50人～99人<br>40歳～44歳 | 高温・低温環境<br><br>高温・低温の物<br>との接触  | 夏休み明けの初日、焼却炉を稼働する準備<br>作業において、高温環境下で、炉内の補修材<br>をミキサーで練る作業をしていたところ、泡を<br>吹いて心停止状態で倒れていたのを同僚に<br>発見された。(熱中症の疑い)                                                                              |
| 18 | 8月<br>15時頃 | 土木工事業<br>10人～29人<br>60歳～64歳                | 建築物、構築物<br><br>墜落、転落            | 建設残土の仮置き場に常駐しドラグ・ショベル<br>で残土を均していたところ、残土の下に隠<br>れていた、廃止済の地下タンク(直径約45<br>メートル、深さ約30メートル)の蓋が崩れ落<br>ち、ドラグ・ショベルとともに落下した。                                                                       |
| 19 | 9月<br>14時頃 | 建築工事業<br>10人～29人<br>55歳～59歳                | 屋根、はり、もや、<br>けた、合掌<br><br>墜落、転落 | 工場の屋根の補修工事において、さび等の<br>破片が屋根の上に散乱したので、これを掃き<br>集めていたところ、スレート下地金属板複合<br>屋根の、下地であるスレート板及び上部の金<br>属波板の腐食度合の高い箇所を踏み抜き、<br>約8メートル下の工場床に墜落した。                                                    |
| 20 | 9月<br>18時頃 | 陸上貨物<br>運送事業<br>10人～29人<br>65歳～69歳         | トラック<br><br>交通事故(道路)            | 被災者は荷主に書類を届けた後、帰社する<br>ため自車の駐車場まで戻ろうと、道路を徒<br>歩で横断していた。その際、横断経路左側の<br>路肩に停車していたトラクターヘッドが後進し<br>て被災者を轢いた。                                                                                   |



|    |             |                                          |                          |                                                                                                                            |
|----|-------------|------------------------------------------|--------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 21 | 9月<br>11時頃  | 建築工事業<br>～9人<br>80歳～84歳                  | 足場<br>墜落、転落              | 宗教施設改修工事において、外周に設置したクサビ緊結式一側足場の足場板から約3メートル墜落した。                                                                            |
| 22 | 9月<br>3時頃   | 清掃・と畜業(その他の廃棄物処理業)<br>10人～29人<br>40歳～44歳 | トラック<br>交通事故(道路)         | 自社商品の納品先に向けて高速道路を走行中の大型トレーラーが、左側ガードレールと接触し横転、追い越し車線側のガードロープに衝突した。                                                          |
| 23 | 10月<br>10時頃 | 清掃・と畜業(その他の廃棄物処理業)<br>30人～49人<br>70歳～74歳 | その他の一般動力機械<br>はさまれ、巻き込まれ | ごみ(資源プラスチック)の自動横型圧縮梱包機の運転係が、側面の点検口から圧縮区画内に上半身を入れセンサーを点検中、自動運転のままだったため、同人の身体がセンサーに感知され、作動した圧縮機構にはさまれた。                      |
| 24 | 10月<br>12時頃 | 陸上貨物運送事業<br>30人～49人<br>65歳～69歳           | トラック<br>はさまれ、巻き込まれ       | 配送センターで、4トントラックに荷を積み終えて、テールゲートリフターを格納(後部扉の面まで垂直に畳んで保持)した際、プラットホーム(10トン車用)の高さに合わせるため台木に乗せていた後輪が落ち、車体が後進して、プラットホームとの間にはさまれた。 |
| 25 | 10月<br>11時頃 | 製造業(機械修理業)<br>100人～299人<br>55歳～59歳       | 作業床、歩み板<br>墜落、転落         | 立体駐車場の内部の劣化状況の点検において、車用リフトの上に床を半面だけ敷いて乗り込み、最上部まで上昇させ、写真撮影のため後ずさり中、床を敷かなかった開口部(約2メートル四方)まで下がってしまい、約26メートル墜落した。              |
| 26 | 10月<br>9時頃  | 建築工事業<br>10人～29人<br>60歳～64歳              | 地山、岩石<br>崩壊、倒壊           | 地上43階地下2階建てビル新築現場で、深さ10メートルまで縦穴状に掘削し土止め支保工を設け、さらにドラグ・ショベルで約2メートル掘り下げたところで予想を超える湧水があり排水ポンプ設置の段取り中、横矢板下部より土砂が流出して埋まった。       |
| 27 | 10月<br>14時頃 | 土木工事業<br>～9人<br>50歳～54歳                  | その他の環境等<br>その他           | 線路脇の法面の除草作業中、茂みから出てきたオオスズメバチらしき蜂に腕を刺され、アナフィラキシーショックを発症した。                                                                  |
| 28 | 11月<br>15時頃 | その他(その他の事業)<br>10人～29人<br>70歳～74歳        | 立木等<br>墜落、転落             | 樹木(常緑高木「ホルトノキ」、胸高直径30センチメートル)の枝に乗って、手ノコで剪定していた。作業中に、乗っていた枝、胴ベルト型墜落制止用器具を取り付けていた枝、握っていた枝が3本とも折れて、4メートル墜落した。                 |
| 29 | 11月<br>7時頃  | 清掃・と畜業(産業廃棄物処理業)<br>30人～49人<br>70歳～74歳   | トラック<br>はさまれ、巻き込まれ       | パッカー車の荷箱から収集物を排出した後、上げていたテールゲートを運転席から操作して下降中であった。被災者は離れた位置で関係のない作業をしていたが、下降が一時停止した際に同車に接近し、下降再開したテールゲートと荷箱後端との間にはさまれた。     |
| 30 | 11月<br>13時頃 | 建築工事業<br>10人～29人<br>55歳～59歳              | 建築物、構築物<br>墜落、転落         | 解体済家屋の基礎部分を含む人工地盤(高さ約6メートルの盛土)の解体撤去工事現場で、人工地盤に混在する廃棄物を手作業で分別中、人工地盤の端から約6メートル墜落した。                                          |

|    |             |                                       |                                |                                                                                                                                                    |
|----|-------------|---------------------------------------|--------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 31 | 11月<br>4時頃  | 陸上貨物<br>運送事業<br>50人～99人<br>55歳～59歳    | 建築物、構築物<br><br>墜落、転落           | トラックで配送中、国道を跨ぐ県道の高架橋を走行時に、座席に置いた書類が助手席の窓から飛ばされた。降車して探している際に、高架橋の柵を乗り越えて墜落した。                                                                       |
| 32 | 11月<br>10時頃 | セメント・<br>同製品製造業<br>10人～29人<br>55歳～59歳 | 移動式クレーン<br><br>交通事故<br>(道路)    | 自社製品納品先の工事現場付近に積載形トラッククレーン(通称ユニック車)を駐車し、荷卸しの妨げとなる自車のジブを車体右側の操作レバーで前方に旋回させていた。その際、傾斜8度の坂道であったため無人の車体が後進し、車体と背後の擁壁との間にはさまれた。                         |
| 33 | 12月<br>13時頃 | 建築工事業<br>10人～29人<br>25歳～29歳           | 金属材料<br><br>崩壊、倒壊              | 資材置場で一人で単管足場の支柱18本の束(長さ3.6メートル、直径5センチメートル、重量13キログラムの支柱を横6本3段にして番線で束ねたもの)を2束ずつ金属バンドで結束中、作業対象の隣に積まれていた10段の束(高さ1.8メートル)が上から7段分倒壊し、その下敷きで倒れているのを発見された。 |
| 34 | 12月<br>16時頃 | その他<br>(農業)<br>10人～29人<br>60歳～64歳     | 立木等<br><br>墜落、転落               | 街路樹等維持業務委託において、市道(傾斜7度)の街路樹の剪定作業中、高さ6.75メートル、胸高直径26センチメートルのイチヨウの木を剪定を終えて下りる際に、高さ約5メートル付近から歩道に墜落した。                                                 |
| 35 | 12月<br>10時頃 | 自動車・同<br>付属品製造業<br>10人～29人<br>60歳～64歳 | トラック<br><br>はさまれ、<br>巻き込まれ     | 被災者は製造中のトラック(コンテナ着脱用アームを備えている、通称アームロール車)のシャーシにバックカメラの配線を取り付けていた。コンテナ着脱用アームが妨げとなるので約45度起こし、その下方で作業中、油圧が落ちて下降したアームとシャーシの間にはさまれた。                     |
| 36 | 12月<br>11時頃 | その他<br>(農業)<br>～9人<br>70歳～74歳         | 手工具<br><br>切れ、こすれ              | 被災者は、庭や街路用等の樹木を育てる畑で、一人で軽トラに枝打ち後の枝を積んでいたが、太腿の後ろ側に刺し傷を負って倒れているのを発見された。荷台内で刃(長さ8センチメートル)を上にして立てかけてあった枝切りバサミの上に尻もちをつき、深く刺さったと推測される。                   |
| 37 | 12月<br>23時頃 | その他<br>(その他の事業)<br>10人～29人<br>30歳～34歳 | 乗用車、バス、<br>バイク<br><br>交通事故(道路) | 運転代行に呼ばれて軽乗用車で向かう途中、国道の信号のある交差点で右折中に、対向車線を直進してきた普通乗用車に左側面に衝突され数回横転し、運転席の労働者が死亡、助手席の労働者が重傷を負った。                                                     |

# ～働く高齢者の特性に配慮した エイジフレンドリーな職場づくり を進めましょう～

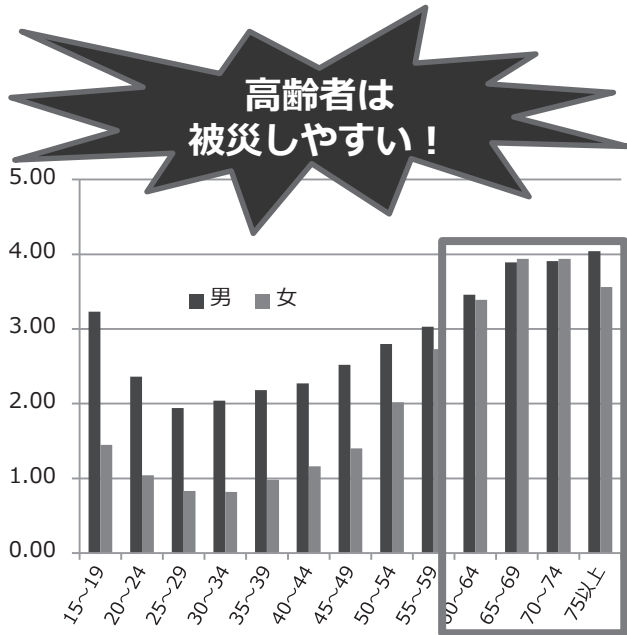
皆さんの職場は、高齢者が安心して働ける環境になっていますか？

**働く高齢者が増加**（60歳以上の雇用者数は過去10年間で**1.5倍**）

**労働災害のうち60歳以上の労働者が占める割合は1/4以上**（2019年は27%）

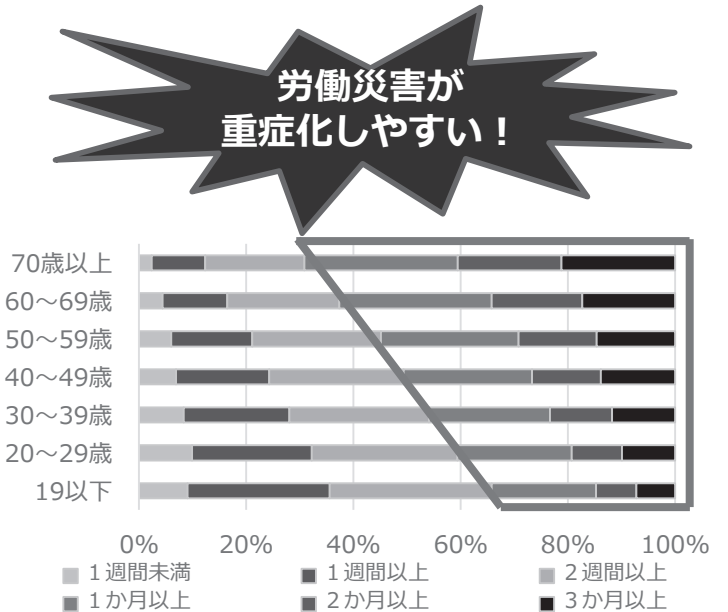
**労働災害発生率は、若年層に比べ高年齢層で高い**

＜年齢別・男女別の労働災害発生率＞



※労働者1000人当たりの死傷災害（休業4日以上）の発生件数  
出典：労働力調査、労働者死傷病報告（2019年）

＜年齢別の休業見込み期間の長さ＞



出典：労働者死傷病報告（2019年）



労働災害が続けば人手不足を招くおそれも…



**安心して安全に働くことのできる職場づくりを！**

エイジフレンドリーガイドライン（高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン）を策定しました。（次ページ以降参照）

ご活用ください

高年齢労働者の安全衛生対策のための  
**エイジフレンドリー補助金**が新設されました！  
（4ページ参照）

## 事業者に求められる事項

高齢者の就労状況や業務の内容等の実情に応じ、実施可能な対策に取り組みましょう。

### 1 はじめに

- ・企業の経営トップが取り組む方針を表明し、担当者や組織を指定します
- ・高年齢労働者の身体機能の低下等による労働災害発生リスクについて、災害事例やヒヤリハット事例から洗い出し、対策の優先順位を検討します
- ・職場改善ツール「エイジアクション100」のチェックリストの活用も有効です→

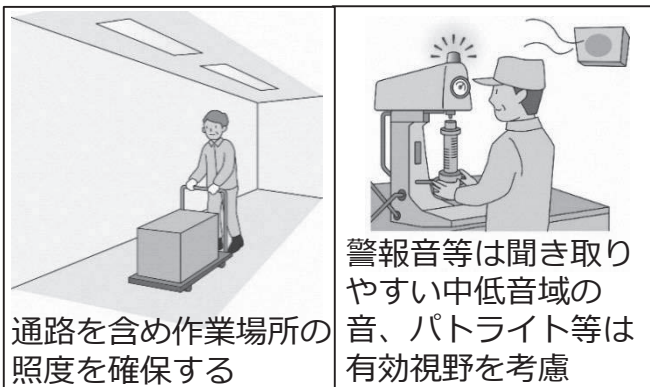


### 2 職場環境の改善

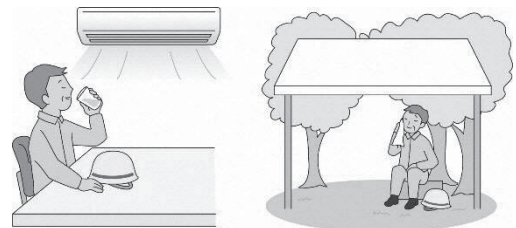
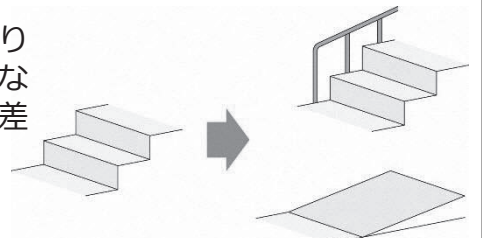
(1) 身体機能の低下を補う設備・装置の導入（主としてハード面の対策）

- ・高齢者でも安全に働き続けることができるよう、施設、設備、装置等の改善を行います

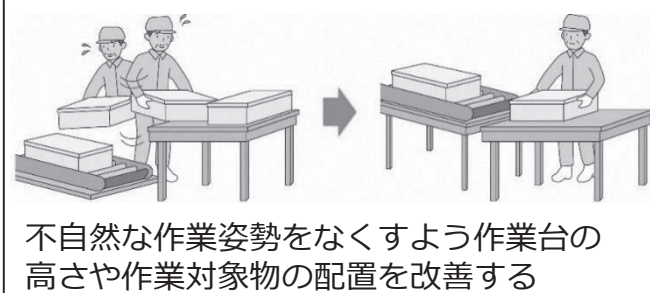
#### ↓対策の例↓



階段には手すりを設け、可能な限り通路の段差を解消する



涼しい休憩場所を整備し、通気性の良い服装を準備する



リフト、スライディングシート等を導入し、抱え上げ作業を抑制



- ・床や通路の滑りやすい箇所に防滑素材（床材や階段用シート）を採用する
- ・熱中症の初期症状を把握できるウェアラブルデバイス等のIoT機器を利用する
- ・パワーアシストスーツ等を導入する 等

(2) 高年齢労働者の特性を考慮した作業管理（主としてソフト面の対策）

- ・高年齢労働者の特性を考慮し作業内容等を見直します。例えば、勤務形態や勤務時間を工夫して高齢者が就労しやすくすること（短時間勤務、隔日勤務等）や、ゆとりのある作業スピード、無理のない作業姿勢等への配慮などがあります

### 3 高齢労働者の健康や体力の状況の把握

#### (1) 健康状況の把握

- 健康診断を確実に実施します
- 職場で行う法定の健診の対象にならない方については、例えば地域の健康診断等を受診しやすくするなど、働く高齢労働者が自らの健康状況を把握できるようにします

#### (2) 体力の状況の把握

- 主に高齢労働者を対象とした**体力チェックを継続的に行う**よう努めます
- 体力チェックの目的をわかりやすく丁寧に説明するとともに、事業場における方針を示し、運用の途中で適宜その方針を見直します

#### ↓注意点↓

- 安全作業に必要な体力の測定手法と評価基準は、安全衛生委員会等の審議を踏まえてルール化するようにします

### 体力チェックの一例

転倒等リスク評価セルフチェック票

I 身体機能計測結果

① 2ステップテスト (歩行能力・筋力)  
あなたの結果は  cm /  cm (身長) =   
下の評価表に当てはめると → 評価

| 評価表   | 1     | 2             | 3             | 4             | 5     |
|-------|-------|---------------|---------------|---------------|-------|
| 結果/身長 | ~1.24 | 1.25<br>~1.38 | 1.39<br>~1.46 | 1.47<br>~1.65 | 1.66~ |

② 座位ステップテスト (敏捷性)  
あなたの結果は  回 / 20秒  
下の評価表に当てはめると → 評価

| 評価表 | 1   | 2         | 3         | 4         | 5   |
|-----|-----|-----------|-----------|-----------|-----|
| (回) | ~24 | 25<br>~28 | 29<br>~43 | 44<br>~47 | 48~ |

③ ファンクショナルリーチ (動的バランス)  
あなたの結果は  cm  
下の評価表に当てはめると → 評価


| 評価表  | 1   | 2         | 3         | 4         | 5   |
|------|-----|-----------|-----------|-----------|-----|
| (cm) | ~19 | 20<br>~29 | 30<br>~35 | 36<br>~39 | 40~ |

④ 閉眼片足立ち (静的バランス)  
あなたの結果は  秒  
下の評価表に当てはめると → 評価

| 評価表 | 1  | 2          | 3           | 4           | 5     |
|-----|----|------------|-------------|-------------|-------|
| (秒) | ~7 | 7.1<br>~17 | 17.1<br>~55 | 55.1<br>~90 | 90.1~ |

⑤ 開眼片足立ち (静的バランス)  
あなたの結果は  秒  
下の評価表に当てはめると → 評価

| 評価表 | 1   | 2           | 3           | 4            | 5      |
|-----|-----|-------------|-------------|--------------|--------|
| (秒) | ~15 | 15.1<br>~30 | 30.1<br>~84 | 84.1<br>~120 | 120.1~ |

詳しくはこちら → 

身体機能計測の評価数字を  
Ⅲのレーダーチャートに黒字で記入

- (3) 健康や体力の状況に関する情報については、不利益な取扱いを防ぐ必要があります

### 4 高齢労働者の健康や体力の状況に応じた対応

- (1) 個々の高齢労働者の基礎疾患の罹患状況等の健康や体力の状況を踏まえた措置を講じます

- (2) 高齢労働者の状況に応じた業務の提供  
健康や体力の状況は高齢になるほど個人差が拡大するため、個々の労働者の状況に合わせ、適合する業務をマッチングさせます

- (3) 心身両面にわたる健康保持増進措置  
例えばフレイルやロコモティブシンドロームの予防を意識した**健康づくり活動**を行います

#### ↓取組の例↓

転倒・腰痛予防！「いきいき健康体操」

<https://youtu.be/9jCi6oXS8IY>

(令和元年度厚生労働科学研究費補助金 労働安全衛生総合研究事業「エビデンスに基づいた転倒予防体操の開発およびその検証」の一環として製作)



### 5 安全衛生教育

- 高齢者対象の教育では、作業内容とリスクについて理解させるため、時間をかけ、写真や図、映像等の文字以外の情報も活用します
- 再雇用や再就職等により経験のない業種、業務に従事する場合、特に丁寧な教育訓練を行います

このガイドラインは、雇用される高齢者を対象としたものですが、請負契約により高齢者を就業させることのある事業者においても、このガイドラインを参考として取組を行ってください。

## 労働者に求められる事項

一人ひとりの労働者が、事業者が実施する取組に協力するとともに、自らの身体機能の変化が労働災害リスクにつながる可能性、自己の健康を守るための努力の重要性を理解し、自らの健康づくりに積極的に取り組むことが必要です。体力チェック等に参加し、日頃からストレッチや軽い運動などに取り組みます

▼参考：ストレッチの例▼

「介護業務で働く人のための腰痛予防のポイントとエクササイズ」より



## 「エイジフレンドリー補助金」のご案内

- エイジフレンドリー補助金は、職場環境の改善に要した費用の一部を補助します。
- 中小企業事業者が対象の補助金です

**補助金申請期間** 決定次第ホームページ等により公表予定です。

### 補助金額

補助対象：高齢労働者のための職場環境改善に要した経費

補助率： 1/2

上限額： 100万円（消費税を含む）

※この補助金は、事業場規模、高齢労働者の雇用状況等を審査の上、交付決定を行います（全ての申請者に交付されるものではありません）

問い合わせ先は決定次第ホームページ等により公表予定です。

### ▼高齢者のための対策について個別に相談したいとき

#### 中小規模事業場 安全衛生サポート事業 個別支援

労働災害防止団体が中小規模事業場に対して、安全衛生に関する知識・経験豊富な専門職員を派遣して、高齢労働者対策を含めた安全衛生活動支援（現場確認・ヒアリング・アドバイス）を行います。

労働災害防止団体 問い合わせ先

|                   |            |              |                 |
|-------------------|------------|--------------|-----------------|
| ・中央労働災害防止協会       | 技術支援部業務調整課 | 03-3452-6366 | （製造業、下記以外の業種関係） |
| ・建設業労働災害防止協会      | 技術管理部指導課   | 03-3453-0464 | （建設業関係）         |
| ・陸上貨物運送事業労働災害防止協会 | 技術管理部      | 03-3455-3857 | （陸上貨物運送事業関係）    |
| ・林業・木材製造業労働災害防止協会 | 教育支援課      | 03-3452-4981 | （林業・木材製造業関係）    |
| ・港湾貨物運送事業労働災害防止協会 | 技術管理部      | 03-3452-7201 | （港湾貨物運送事業関係）    |

無料

#### 65歳超雇用推進プランナー・高齢者雇用アドバイザーをご活用ください

中小企業診断士、社会保険労務士等、高齢者の雇用に関する専門的知識や経験などを持っている外部の専門家が、企業の高齢者雇用促進に向けた取組を支援します。

#### 相談・助言

各企業の実情に応じて、以下の項目に対する専門的かつ技術的な相談・助言を行っています。

- 人事管理制度の整備に関する事
- 能力開発に関する事
- 賞金、退職金制度の整備に関する事
- 健康管理に関する事
- 職場の改善、職域開発に関する事
- その他高齢者等の雇用問題に関する事

無料

- お近くのお問合せ先は、高齢・障害・求職者雇用支援機構のホームページ (<http://www.jeed.or.jp>) から確認できます。
- 「65歳超雇用推進事例サイト (<https://www.elder.jeed.or.jp/>)」により、65歳を超える人事制度を導入した企業や健康管理・職場の改善等に取り組む企業事例をホームページにて公開しています。

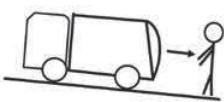

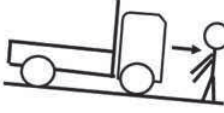
高齢労働者の労働災害防止対策の情報を厚生労働省ホームページに掲載しています



# 労働災害が増えています！

## 荷物の積み降ろしを安全に

令和2年6月から令和3年1月にかけて神奈川県内で、(サイドブレーキはかけていたものの、)坂道など傾斜のある場所で止めていたトラックなどの自動車が逸走して労働者が死亡するといった災害が3件発生しています。運転者が運転席を離れる際はサイドブレーキをしっかりとけることはもとより、輪止めの使用を徹底してください。(荷物積み降ろし(積み降ろし)中に関連する災害の多くは、運輸交通業で発生しておりますが、3件の死亡災害は製造業・商業・清掃業と運輸交通業に限らず発生しておりますので、荷物の運送が関係する全業種において災害防止に努めてください。)

| 発生月<br>発生時刻 | 業種<br>事業場規模<br>被災者の年齢層                           | 起因物<br>事故の型                 | 発生概要<br>災害防止のポイント                                                                                                                                      | 概要図                                                                                   |
|-------------|--------------------------------------------------|-----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 6月<br>9時頃   | 清掃・と畜業<br>(その他の<br>廃棄物処理業)<br>10人～29人<br>50歳～54歳 | トラック<br><br>交通事故<br>(道路)    | 一人でパッカー車によるごみ収集中、収集のため坂道に停車させていた無人のパッカー車が坂道(傾斜3度前後)を約75メートル後退し、その途中で被災者が轢かれたもの。<br><br>ブレーキを確実にかけるとともに、輪止めをする。                                         |  |
| 11月<br>10時頃 | セメント・<br>同製品製造業<br>10人～29人<br>55歳～59歳            | 移動式クレーン<br><br>交通事故<br>(道路) | 納品先の工事現場付近に積載形トラッククレーンを駐車し、荷卸しの妨げとなる自車のジブを車体右側の操作レバーで前方に旋回させていた。その際、傾斜8度の坂道であったため無人の車体が後進し、車体と背後の擁壁との間にはさまれたもの。<br><br>ブレーキを確実にかけるとともに、輪止めをする。         |  |
| 1月<br>14時頃  | その他の<br>卸売業<br>1人～9人<br>55歳～59歳                  | トラック<br><br>はさまれ、<br>巻き込まれ  | 傾斜が8度ある工場のシャッター入口付近に積載荷重3トンの平ボデートラックを止め、製品積込を行っていたところ、無人のトラックが前方に動き出し、敷地の外にある塀に突き当たって止まった(逸走距離4.6メートル)が、その右前輪に巻き込まれたもの。<br><br>ブレーキを確実にかけるとともに、輪止めをする。 |  |

※ わかりやすいように修正している場合がありますので、実際の災害とは若干異なる場合がありますことをご承知おきください。

また、荷役作業においては、荷主先でコンテナやパレット、建設資材、飲食料品等の荷物の積み込み、積卸し(積み降ろし)作業での労働災害が増加傾向となっており、トラック運転者のみならずフォークリフトの運転者や周辺の作業員の方々も、被災しておりますので併せてご注意ください。



神奈川県労働局・労働基準監督署



(R3.2)

## 荷役災害を発生させた「荷主先等」の状況から・・・

荷主先等で発生しているトラック運転者の労働災害の多くは、荷主先において安全な荷役設備がない状況で作業を行った結果、トラックの荷台から墜落しているものや荷主先労働者と陸運事業者のトラック運転者等が混在するなか、連絡調整なく荷役作業を行っている状況が確認されています。

## 安全な荷役作業を行わせるためには・・・

事前に、トラック業者と荷主先等において荷役作業に係る役割分担を決定した上で、車両系荷役運搬機械等を用いて作業を行う事業者は**同規則第151条の3**に基づき安全な作業を行うため「**作業計画**」を作成し、**作業指揮者に作業計画に基づいた作業の指揮を行わせることが大切です。**

## 荷役災害の（主な）原因は・・・

荷役作業には、多くの事業場でフォークリフト等の車両系荷役運搬機械等を使用して作業を行っておりますが、**労働安全衛生規則第151条の4**で選任が義務付けられている**車両系荷役運搬機械等の作業指揮者**や**同規則第151条の70**で定められている**積卸し(積み降ろし)作業の作業指揮者等**が未選任であるものが見受けられます。また、作業指揮者が選任されていても**作業指揮者に必要な安全教育**が行われていないまま作業を実施していることが原因となってももの見受けられます。さらに、荷台からの墜落・転落災害対策が講じられていないまま作業を行っているものも見受けられます。

## 陸運事業者の労働者が行う荷役作業における労働災害の防止について

- 労働安全衛生関係法令等とあわせて、陸運事業者及び荷主等がそれぞれ取り組むべき事項を具体的に示した「**陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドライン**」(平成25年3月25日付け基発0325第1号(以下、「荷役ガイドライン」という。))が策定されています。

## 荷役作業の有無の事前確認について

- 荷役ガイドラインでは、荷役作業等の付帯作業について、荷役作業の役割分担を決定した上で、**事前に安全作業連絡書等**により連絡調整することを荷主等事業者と陸運事業者に求めています。(「荷役ガイドライン」に**安全作業連絡書(例)**が示されています。(下欄参照))

## 作業指揮者への安全教育については、通達等に基づき事業者が実施することとなります。

- 車両系荷役運搬機械等作業指揮者に対する安全教育について(平成4年12月11日付け基発第650号)
- 積卸し作業の作業指揮者等に対する安全教育について(昭和60年3月13日付け基発第133号)

## ※作業指揮者への安全教育を実施している労働災害防止団体等(教育機関)については・・・

- 上記の通達に基づき、以下の団体において実施されます。  
 ※ 神奈川労働局管内では、**陸上貨物運送事業労働災害防止協会神奈川県支部(電話045-472-1818)**において実施されています。(詳しくは、陸上貨物運送事業労働災害防止協会神奈川県支部のホームページ等をご覧ください。)

### 安全作業連絡書(例)

- ① この安全作業連絡書は、荷の積卸し作業の効率化と安全確保を図る観点から荷主又は配送先の作業環境に関する情報をあらかじめドライバーに提供するためのものである。  
 ② この安全作業連絡書は、現在使用している作業指示書とあわせて使用する。

| 発 地                          |                                                     | 着 地                          |                                                     |
|------------------------------|-----------------------------------------------------|------------------------------|-----------------------------------------------------|
| 積込作業月日                       | 月 日 ( )                                             | 取卸作業月日                       | 月 日 ( )                                             |
| 積込開始時刻                       | 時 分                                                 | 取卸開始時刻                       | 時 分                                                 |
| 積込終了時刻                       | 時 分                                                 | 取卸終了時刻                       | 時 分                                                 |
| 積込場所                         | 1. 屋内 2. 屋外<br>1. 荷主専用荷捌場 2. トラクターミナル<br>3. その他 ( ) | 取卸場所                         | 1. 屋内 2. 屋外<br>1. 荷主専用荷捌場 2. トラクターミナル<br>3. その他 ( ) |
| 積<br>荷                       | 品 名                                                 |                              |                                                     |
|                              | 危険有害性                                               | 有・無 ( )                      |                                                     |
|                              | 数 量                                                 |                              |                                                     |
|                              | 総 重 量                                               | kg ( kg/個 )                  |                                                     |
| 積 付                          | 1. バラ 2. パレタイズ 3. その他 ( )                           |                              |                                                     |
| 積<br>込<br>作<br>業             | 作業の分担                                               | 取卸作業                         | 1. 荷主側 2. 運送業者側<br>3. 荷主 運送業者共同                     |
|                              | 作業員数                                                | 名                            | 1. 荷主側 2. 運送業者側<br>3. 荷主 運送業者共同                     |
|                              | 使用荷役機械                                              | 有・無 1. フォークリフト<br>2. その他 ( ) | 有・無 1. フォークリフト<br>2. その他 ( )                        |
| 免許資格等                        | 1. フォークリフト 2. 玉掛け 3. はい作業<br>4. その他 ( )             | 免許資格等                        | 1. フォークリフト 2. 玉掛け 3. はい作業<br>4. その他 ( )             |
| その他特記事項 ※ 作業時には安全靴、保護帽を着用のこと |                                                     |                              |                                                     |



# STOP！熱中症

# クールワークキャンペーン

令和3年5月～9月

— 熱中症予防対策の徹底を図ろう —


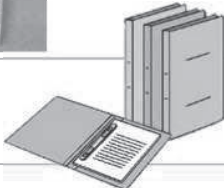
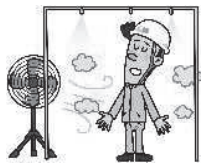




職場における熱中症により、毎年約20人が亡くなり、約1,000人が4日以上仕事を休んでいます。夏季を中心に「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」を展開し、職場での熱中症予防に取り組みましょう！

事業場では、期間ごとの実施事項に重点的に取り組んでください。

●実施期間：令和3年5月1日から9月30日まで（準備期間4月、重点取組期間7月）



確実に実施できているかを確認し、□にチェックを入れましょう！

| 準備期間（4月1日～4月30日）         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|--------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | <b>WBGT値の把握の準備</b><br>JIS規格「JIS B 7922」に適合したWBGT指数計を準備しましょう。<br>                                                                                                                                                       |
| <input type="checkbox"/> | <b>作業計画の策定など</b><br>WBGT値に応じて、作業の中止、休憩時間の確保などができるよう余裕を持った作業計画をたてましょう。<br>                                                                                                                                              |
| <input type="checkbox"/> | <b>設備対策・休憩場所の確保の検討</b><br>簡易な屋根の設置、通風または冷房設備やミストシャワーなどの設置により、WBGT値を下げる方法を検討しましょう。また、作業場所の近くに冷房を備えた休憩場所や日陰などの涼しい休憩場所を確保しましょう。<br>  |
| <input type="checkbox"/> | <b>服装などの検討</b><br>通気性の良い作業着を準備しておきましょう。身体を冷却する機能をもつ服の着用も検討しましょう。<br>                                                                                                                                                   |
| <input type="checkbox"/> | <b>教育研修の実施</b><br>熱中症の防止対策について、教育を行いましょう。<br>迷わず救急車を呼びましょう！<br>                                                                                                                                                        |
| <input type="checkbox"/> | <b>労働衛生管理体制の確立</b><br>衛生管理者などを中心に、事業場としての管理体制を整え、必要なら熱中症予防管理者の選任も行いましょう。<br>                                                                                                                                           |
| <input type="checkbox"/> | <b>緊急時の措置の確認</b><br>体調不良時に搬送する病院や緊急時の対応について確認を行い、周知しましょう。                                                                                                                                                                                                                                                   |

【主唱】厚生労働省、中央労働災害防止協会、建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会、一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会、一般社団法人全国警備業協会 【協賛】公益社団法人日本保安用品協会、一般社団法人日本電気計測器工業会 【後援】関係省庁（予定）

## キャンペーン期間（5月1日～9月30日）

STEP  
1

### □ WBGT値の把握








JIS 規格に適合したWBGT指数計でWBGT値を測りましょう。



WBGT指数計の例

STEP  
2

### 準備期間中に検討した事項を確実に実施するとともに、測定したWBGT値に応じて次の対策を取りましょう。

|                          |                   |                                                                                              |                                                                                       |
|--------------------------|-------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | WBGT値を下げるための設備の設置 | 準備期間に検討した設備、休憩場所を設置しましょう。                                                                    |    |
| <input type="checkbox"/> | 休憩場所の整備           | 休憩場所には水、冷たいおしぼり、シャワー等や飲料水、塩飴などを設置しましょう。                                                      |    |
| <input type="checkbox"/> | 通気性の良い服装など        | 準備期間に検討した通気性の良い服装なども着用しましょう。                                                                 |    |
| <input type="checkbox"/> | 作業時間の短縮           | WBGT値が高いときは、単独作業を控え、WBGT値に応じて作業の中止、こまめに休憩をとるなどの工夫をしましょう。                                     |                                                                                       |
| <input type="checkbox"/> | 熱への順化             | 暑さに慣れるまでの間は十分に休憩を取り、1週間程度かけて徐々に身体を慣らしましょう。特に、入職直後や夏季休暇明けの方は注意が必要です！                          |    |
| <input type="checkbox"/> | 水分・塩分の摂取          | のどが渇いていなくても定期的に水分・塩分を取りましょう。                                                                 |                                                                                       |
| <input type="checkbox"/> | プレクーリング           | 休憩時間にも体温を下げる工夫をしましょう。                                                                        |                                                                                       |
| <input type="checkbox"/> | 健康診断結果に基づく措置      | ①糖尿病、②高血圧症、③心疾患、④腎不全、⑤精神・神経関係の疾患、⑥広範囲の皮膚疾患、⑦感冒、⑧下痢などがあると熱中症にかかりやすくなります。医師の意見をきいて人員配置を行いましょう。 |   |
| <input type="checkbox"/> | 日常の健康管理など         | 前日のお酒の飲みすぎはないか、寝不足ではないか、当日は朝食をきちんととったか、管理者は確認しましょう。熱中症の具体的症状について説明し、早く気付くことができるようにしましょう。     |  |
| <input type="checkbox"/> | 労働者の健康状態の確認       | 作業中は管理者はもちろん、作業員同士お互いの健康状態をよく確認しましょう。                                                        |  |

STEP  
3

### 熱中症予防管理者等は、WBGT値を確認し、巡視などにより、次の事項を確認しましょう。

- WBGT値の低減対策は実施されているか
- 各労働者が暑さに慣れているか
- 各労働者は水分や塩分をきちんと取っているか
- 各労働者の体調は問題ないか
- 作業の中止や中断をさせなくてよいか

#### □ 異常時の措置

～少しでも異常を感じたら～

- ・ いったん作業を離れる
- ・ 病院へ運ぶ、または救急車を呼ぶ
- ・ 病院へ運ぶまでは一人きりにしない

## 重点取組期間（7月1日～7月31日）

- 実施した対策の効果を再確認し、必要に応じ追加対策を行いましょう。
- 特に梅雨明け直後は、WBGT値に応じて、作業の中断、短縮、休憩時間の確保を徹底しましょう。
- 水分、塩分を積極的に取りましょう。
- 各自が、睡眠不足、体調不良、前日の飲みすぎに注意し、当日の朝食はきちんと取りましょう。
- 期間中は熱中症のリスクが高まっていることを含め、重点的に教育を行いましょう。
- 少しでも異常を認めたときは、ためらうことなく、病院に搬送しましょう。



# 神奈川県労働局安全・健康課関連QRコード一覧

労働災害と健康の現状



第13次労働災害防止推進計画



神奈川産業保健総合支援センター(相談)



神奈川働き方改革推進支援センター



新型コロナウイルスに関するQ&A  
(企業の方向け)



STOP! 転倒災害プロジェクト神奈川



正しい玉掛作業で安全確保!



## 神奈川県労働局労働基準部 安全課・健康課

〒231-8434 横浜市中区北仲通5-57 横浜第2合同庁舎 8F

安全課 045 (211) 7352 FAX 045 (211) 0048

健康課 045 (211) 7353 FAX 045 (211) 0048

## 労働基準監督署一覧

| 監督署 | 管轄                       | 郵便番号     | 所在地                                  | 電話番号         |
|-----|--------------------------|----------|--------------------------------------|--------------|
| 横浜南 | 中区、南区、磯子区、港南区、金沢区        | 231-0003 | 横浜市中区北仲通5-57<br>横浜第2合同庁舎9階           | 045-211-7375 |
| 鶴見  | 鶴見区(扇島を除く)               | 230-0051 | 横浜市鶴見区鶴見中央2-6-18                     | 045-279-5486 |
| 横浜西 | 戸塚区、瀬谷区、泉区、栄区、保土ヶ谷区、旭区   | 240-8612 | 横浜市保土ヶ谷区岩井町1-7<br>保土ヶ谷駅ビル4階          | 045-287-0274 |
| 横浜北 | 神奈川区、西区、港北区、緑区、青葉区、都筑区   | 222-0033 | 横浜市港北区新横浜3-24-6<br>横浜港北地方合同庁舎3階      | 045-474-1252 |
| 川崎南 | 川崎区、幸区、鶴見区扇島             | 210-0012 | 川崎市川崎区宮前町8-2                         | 044-244-1273 |
| 川崎北 | 高津区、多摩区、宮前区、麻生区、中原区      | 213-0001 | 川崎市高津区溝口1-21-9                       | 044-382-3191 |
| 横須賀 | 横須賀市、三浦市、逗子市、三浦郡         | 238-0005 | 横須賀市新港町1-8<br>横須賀地方合同庁舎5階            | 046-823-0858 |
| 藤沢  | 藤沢市、藤沢市、茅ヶ崎市、高座郡         | 251-0054 | 藤沢市朝日町5-12<br>藤沢労働総合庁舎3階             | 0466-97-6748 |
| 平塚  | 平塚市、伊勢原市、秦野市、中郡          | 254-0041 | 平塚市浅間町10-22<br>平塚地方合同庁舎3階            | 0463-43-8615 |
| 相模原 | 相模原市                     | 252-0236 | 相模原市中央区<br>富士見6-10-10<br>相模原地方合同庁舎4階 | 042-861-8631 |
| 厚木  | 厚木市、海老名市、座間市、愛甲郡、大和市、綾瀬市 | 243-0018 | 厚木市中町3-2-6<br>厚木Tビル5階                | 046-401-1960 |
| 小田原 | 小田原市、足柄下郡、南足柄市、足柄上郡      | 250-0011 | 小田原市栄町1-1-15<br>ミナカ小田原9階             | 0465-22-7151 |

当局の事前の書面による承諾なく、販売目的で本出版物のいかなる部分、いかなる様式についても、電子的、電氣的、磁気テープ、機械的、写真複写、またはその他のいかなる手段を問わず、転載、情報検索システムへの保存、伝達を禁止します。

# 災害発生事例

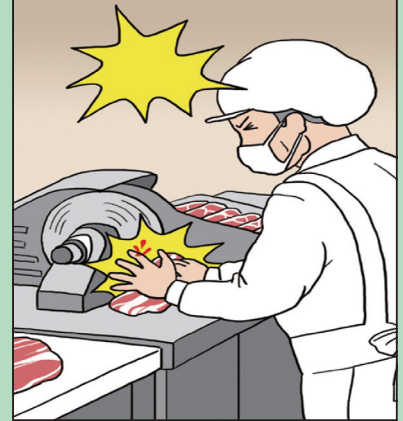
はさまれ・巻き込まれ災害



転倒災害



切れ・こすれ災害



墜落・転落災害



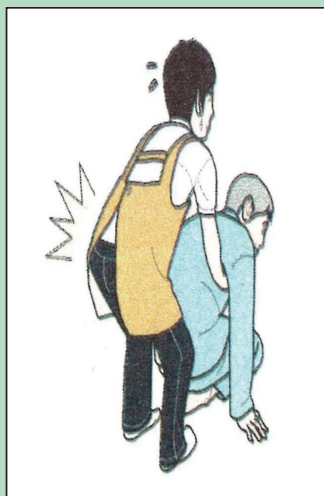
火傷災害



墜落・転落災害



腰痛災害



はさまれ・巻き込まれ災害

